

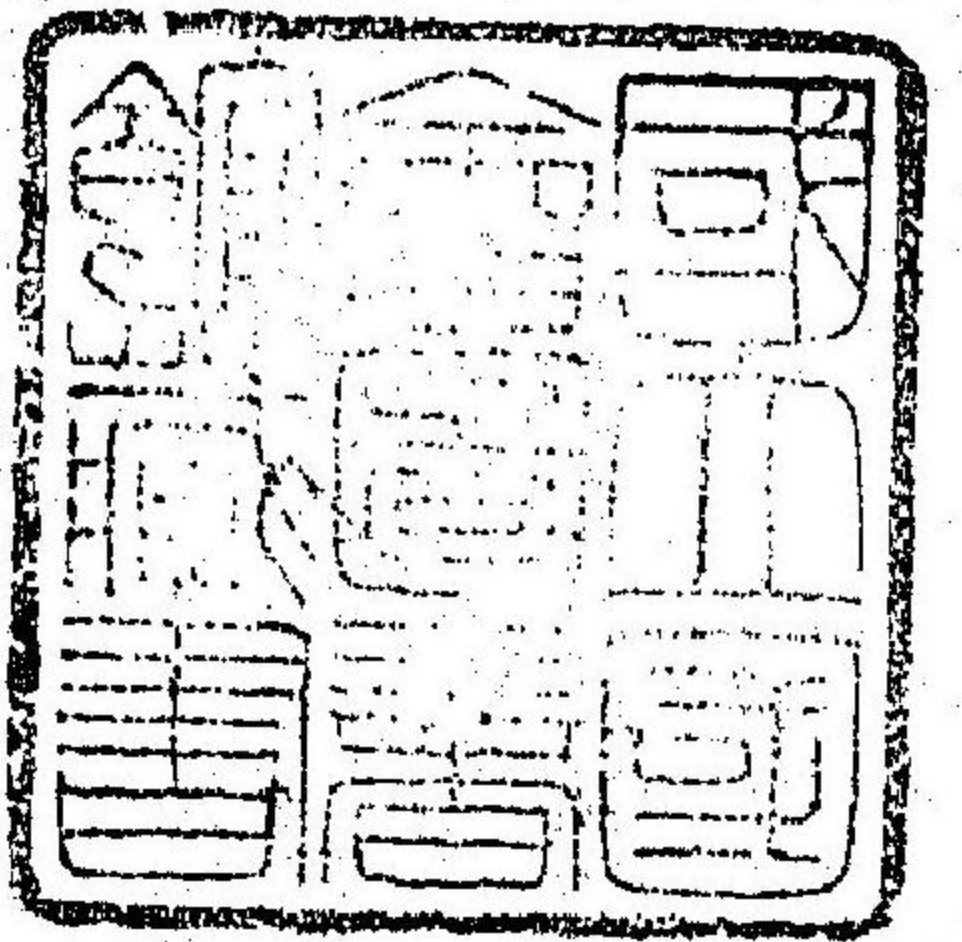
引 索

こ	け	く	き	か	お	え	う	い	あ
八六	八二	七七	七〇	五〇	三九	三四	二八	一七	一
こ	て	つ	ち	た	そ	せ	す	し	さ
一六五	一五九	一五三	一四四	一三六	一三二	一二七	一一九	一〇三	九六
ほ	へ	ふ	ひ	は	の	ね	ぬ	に	な
二二二	二二七	二二〇	二〇〇	一九〇	一八七	一八四	一八一	一八〇	一七三
り	ら	よ	ゆ	や	も	め	む	み	ま
二六五	二六四	二五九	二五六	二四九	二四五	二四一	二三九	二三四	二三八
								わ	ろ
								二六七	二六六

静岡縣師範學校
静岡縣女子師範學校 共編

静岡縣方言辭典
附音韻法
口語法

静岡市 吉見書店藏版



言不順身
事不成



庚戌二月

陸公書



560973

静岡縣方言辭典序

夫れ各地の方言が文運の進歩と交通の頻繁とに伴ひて、相融和して統一に趨くは自然の勢なるも、特に意を致して鄙野なる訛言を斥け、蕪雜なる俚語を排し、之に代ふるに一國の都雅なる標準語を以てせんとするは、國民教化上當に勉むべき事なり。然りと雖も、文明の勢力と教育の普及とに因りて、鄙野なる郷言の裡に俚俗累代の精神の宿れるをも共に滅ぼし、蕪雜なる土語の間に古辭舊詞の纔に遺れるをも併せて失はんとするに至れるは、國語の學問上眞に惜むべしとす。是に於て彼の教化上の要求に應じ、此の學問上の希望を充さんが爲に、各地に於て方言の語彙を編み語法を

撰し、以て既に漸く興り來れる國語彫琢の業に備へ、將に益々亡びんとする郷土俗言の粹を存せんとするは、極めて急務なりと謂ふ可し。

本縣幸に上古の國風の古典に存するありて學者の考覈を経、近世往來の衝に當りて郷談の特色遠近に著はる。駿河歌駿河舞の名、東遊の曲中に冠たるは言ふに及ばず、天平時代に於る遠州の古語は加茂翁の註釋に名高く、天保年度に於る駿國の俚言は阿部氏の地誌にて知られたり。今言と對比して方言變遷の跡を尋ねんこそせば、吾山の物類稱呼、一九の膝栗毛の類、亦參考の一助たるを失はず。斯くの如きは好奇戲作の餘に出でたるものに非んば、古典に散見する片言隻

語に過ぎずして、固より縣下方言古今の相違を明にするの料たるに足らずと雖も、豆駿遠三州の言語は、往古所謂吾妻言葉の一端を成し、方言の異彩夙に顯はれ、國語の歴史上研究の價值頗る大なり。之に加ふるに、其地東海の要路に在りて、其語東は關東の俚言に接し、西は關西の方語に涉れるを以て、東西兩方言の勢力消長の迹を印し、我國言語の分布上甚だ重要な範圍を占む。歴史上其沿革考ふべく、地理上其分布探るべきもの斯く大なるにも拘はらず、容易に廣く縣下方言攻究の材料を得るに由なく、私かに以て當代學界の恨事としたるや久し。若夫れ鄙語を去り俚言を棄て、童蒙に授くるに規範語を以てせんとするも、典據こそすべき語彙な

きが故に、淘汰すべき鄙語俚言を識別すること難く、該當すべき規範語を會得すること能はず、全縣教育上の不便少からざりしは、予の言を俟たざるべし。

然るに今本縣師範學校同女子師範學校相議り、静岡縣方言辭典を編し、將に近日之を公刊せんとするの美舉あるを聞く、蓋し其の多年我が學界に漏れたる材料の一部を補ひ、縣下教育界に缺けたる方策の幾分を充すに足るものあらんを想ひ、欣喜措く能はざるなり。此書専ら訛言俚語の矯正に資し標準語の教示に便にせんが爲に編纂せられたるものにして、國語學上方言の沿革を探り郷語の分布を明にするの料に供するを以て目的とせざるが如しと雖も、滅び易き

邑里の俗語を文字の上に留め、窺ひ難き僻地の俚言を書冊の中に集め、以て學者の參考に資するの功少からざるや知るべし。予は本書が更に進んで本縣の完全なる方語集及語法書の先驅となり、以て日本全國に亘れる方言大辭典大語典の撰修に貢献するの時機に達せんことを望むや切なり。

明治四十三年三月十五日

京 都 新 村 出

静岡縣方言辭典序

方言を矯正せずんば國語の統一は得て望むべからず、國語にして統一せざらんか、國民の思想感情は永久に封建割據の舊態を改むること能はざるべし。これ實に國語調査會の設けられし所以にして、また夫の發音の矯正と言語の練習とが小學校に於ける國語科の重要目的となれるも、主として之が爲めなりとす。然れども方言の矯正は極めて難事なり、標準語の制定亦容易の業にあらず。此の過渡の時代に際し、實地教育の任にあるもの、何に依りて此の目的を遂行せんか、其の苦心察するに餘ありと謂ふべし。

本縣兩師範學校、夙に茲に見る所ありて方言調査の必要を認め、明治三十五六年の交より、縣下に向つて遍くそが資料を求め、蒐集せるもの机上を成すに至れり。爾來委員を定め、孜孜として整理に従ふこと多年、苦心慘憺、今や漸く成るを告ぐ、其の間稿を改むること前後五回、收むる所の語數無慮四千有餘、尙ほ添ふるに、本縣音韻法及口語法を以てし、題して静岡

縣方言辭典といふ。固より未だ完璧となすを得ずと雖、一は以て學界に貢獻し、一は以て本縣教育家並に一般人士の爲めに、方言矯正の資たらんとを期す。

蓋本書の編纂たる、公務の餘暇に成りたるものなれば、杜撰の点、遺漏の項、少からざるべきは、固より期する所、他日機を見て更に訂正増補を試みんとす。庶幾くは大方の諸士、亦幸に批正を垂れ、本書をして益々學界の爲め、教育界の爲めに貢獻する所あらしめんことを。

茲に本書の成るに方り、特に其の顛末を記して、縣下各郡市の本校の爲めに材料を寄せられたる諸氏、並に編纂の爲めに力を盡されたる委員諸氏の厚意と勤勞とを感謝す。

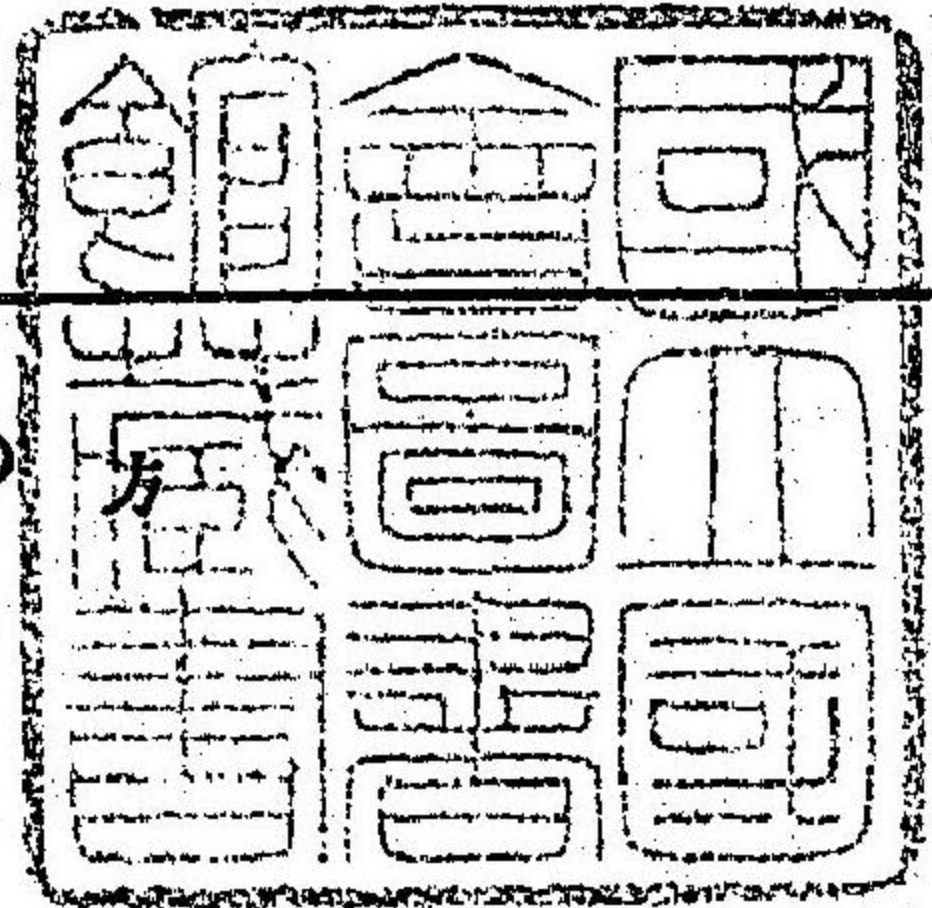
明治四十三年二月

静岡縣師範學校長 角谷源之助
静岡縣女子師範學校長 有坂幾造

凡例

- 一、方 言 表音的假名遣に據り、五十音順に排列せり。但し本縣のみならず、他府縣に於ても使用せられつゝあるものあり。然れども正しき普通語と認め難きものは、矢張方言として之を収録せり。
- 二、品 詞 左の畧符を用ふ。

名 詞	名	代名詞	代	動 詞	動	形 容 詞	形	副 詞	副
助動詞	助	關係詞(助詞又へてにをは)	關	感 動 詞	感	接 頭 語	頭		
接尾語	尾	二語以上の單語の合成せるもの	句						
- 三、普通語 歴史的假名遣に依る。
- 四、意義用例 意義は文語を以て解釋し、用例は口語の儘を括弧「……」内に記して、他の解釋文と區別せり。而して、意義のみにて用例を缺くもの、用例のみにて意義を省けるもの、或は意義用例共に載せたる等、語に由りて一ならず。
- 五、音韻法 平假名なるは普通語にして、歴史的假名遣に據り。片假名なるは方言にして、表音的假名遣に據れり。而して、末段には之に該當せる漢字を配當せり。
- 六、口語法 總て表音的假名遣に據れり。而して各項の初めに擧げたる例は、使用の範圍最も廣くして殆ど縣下一般に通ぜるものなり。「左の如く言ふ處あり」とせるは、使用の範圍或る一地方に止るものをいふ。



静岡縣方言辭典

静岡縣師範學校
静岡縣女子師範學校 共編

あ

言	品詞	普通語	意義	用例
あー	感	ハイ	應答の語「あー承知した」	
あーいたに	句	アノヤウニ	「あーいたに勉強するものだ」	
あーこ	代	アソコ	彼處	
あーす	句	ゴザイマス	「さうであーす」	
あーせ	名	アハセ	裕	
あーせる	動	カキマゼル	「酒へ水をあーせる」	
あーたっち	動	アナタガタ	貴公等	
あーたれる	動	アバレル	暴ばる	

あ

あかし
あかす
あかす
あかせーる
あかせる
あがちよくれあす
あがつこ
あがでに
あかみ
あかりー
あがりこ
あかる
あかん
あがんなれ
あかん
あきなる

名 名 動 動 動 名 名 形 名 副 名 句 動 動 動 名 名

マキ
ムギメシ
ヲシヘル
ヲシヘル
ヲシヘル
オアガリクダサイ
アガリグチ
ジブンデ
アカルイ
ヒロマ
アカリ
オヨバヌ
オアガリナサイ
イケナイ
ナクナル

薪
麥飯
教ふ
教ふ
教ふ
「こちらへあがちよくれあす」
家の昇り口
自ら「あがでに拵へる」
魚族の群れるをいふ
晴天の意「今日はあかりー日だ」
廣間
燈火「あかるをつける」
「私の力にはとてもあかん」
「こちらへあがんなれ」
「これはあかん」
失す

あぐ
あくさる
あくせる
あくたれる
あくたもくた
あぐつ
あくでー
あぐこ
あくび
あぐる
あけー
あけつこり
あけはんどー
あこ
あこ
あこ

名 動 動 動 名 名 名 形 名 名 動 動 動 名

アゴ
ヲンハル
ヲシヘル
アバレル
イロくサマぐ
カカト
ヒドイ
カカト
アケビ
アケラ
アカイ
ダマス
アケハナシ
カカト
シタ
カカト

顎
教へらる
教ふ
「あの兒はあくたれる」
種々様々、
種
「あの人はあくでーことをやった」
踵
通草
胡座
赤し
驅す
「此家はあけはんどーだ」
踵
舌
踵

あさすくれー	アサシゴト	朝仕事
あさじゃ	アサメシ	朝飯
あさで	アサ	朝
あさびつち	アサセ	浅瀬
あさぶら	アサウラ	麻裏草履
あさら	ムロン	無論「そんなことはあさらなこと」
あし	ワタクシ	私
あじ	アゼ	畦畔
あしけーら	アノヘン	彼處邊
あしこ	アソコ	彼處
あしなか	ワラザウリ	藁草履
あしなりこ	アシナヘコッコ	片足にて跳ね歩む子供の遊戯
あしたなき	アシタノアサ	明朝
あしまき	ハリガネムシ	針金虫
あしもこ	アシアト	足跡
あしやらもない	タワイモナイ	「あしやらもないこと」をいふ

あしんど	アシアト	足跡
あすくみ	アグラ	胡坐
あすくら	アグラ	胡坐
あすける	アツケル	預く
あすけーら	アソコラ	彼處邊
あすこんこ	アソコ	彼處
あすぶ	アソブ	遊ぶ
あすぼー	アソバウ	遊ばん
あすんべー	アソビマセウ	遊ばん
あすんぼこ	アマゴト	飯事「あすんぼこをして遊ぶ」
あすり	ニキピ	面炮
あする	アキル	心の變り易いこと「あんまりあするから損をする」
あする	マヨフ	心の定まらざること「大層物事にあする人だ」
あだ	ヒロマ	廣間
あたける	アパレル	荒ばる
あたま	カミ	髪「あたまをゆふ」

あのの
あのほり
あはじゃれる
あはらう
あーび
あぶつかしい
あぶにゃー
あぶねー
あぶらつんぼー
あぶらやさん
あぶれる
あぶんない
あべ
あべる
あぼ
あほりこー

代 句 動 動 名 形 形 形 名 名 動 動 名 名

アレ
アノヲリ
フザケル
アラソフ
アハビ
アブナイ
アブナイ
アブナイ
アブラツボ
ヨダレカケ
ハヅレル
アブナイ
アルケ
アビル
アブ
キノヒアヒ

「あののを持つてこい」
「あのほりは御世話様でした」
巫山戯る
争ふ
鯁
危し
危し
危し
油壺
涎掛
「今日の釣はきつとあぶれるぞ」
危し
歩め
「水をあべる」
蟲
競争

あま
あま
あま
あまくそ
あまけ
あまげる
あまごえる
あまご
あまさえる
あまさる
あまされる
あます
あまっこー
あまっちょー
あまっちょー
あまっこ

名 名 名 名 動 動 動 動 名 動 動 名 名 名 名 名

タカイトコロ
ニカイ
ヲンナ
アメツブ
アメフリ
アマエル
アマエル
ワルサヲスル
アマエル
アマエル
ツクナフ
ヲンナノコ
コムスメ
ヲンナノコ
ヲンナ

高所「あの子はあまから落ちた」
二階、天井の上
女子を罵り呼ぶ詞
雨滴
雨天
「母親にあまげる」
「小兒が母にあまごえる」
天井の上
「あまさえるとひどいよ」
「あまさると叱られる」
「この兒は大變あまされる」
償ふ
女兒
小女を罵り呼ぶ語
女兒を親み呼ぶ語
女子を輕んじて呼ぶ語

あまつさえ
あまげーる
あまんじやく
あまんじょー
あみゃー
あめ
あやしめー
あやーしめー
あやまち
あゆぶ
あよぶ
あらー
あらく
あらすか
あらすけー
あらつかい

名 動 名 名 形 形 名 句 動 動 句 動 句 句 句 句

アマヤミ
アマエル
ヲンナ
ヲンナ
アマイ
クワシ
アブナイ
アリマスマイ
ケガ
アルク
アルク
アルヨ
カイコンスル
アルモノカ
アルモノカ
アルモノカ

雨歌み
「あんまりあまげーるではない」
女子を罵り呼ぶ語
女を罵る語「あのみんじょーはいぢがわるい」
甘し
菓子
危し
有らざらん
怪我
歩む
歩む
「こゝにあらー」
開墾す
「そんな事があらすか」
「そんな事があらすけー」
「そんな事があらつかい」

あらっけー
あらまい
あらぼつたい
ありく
ありこ
ありこ
ありんこ
ありんど
ありんど
ありんど
あるま
あるま
あるま
あるま
あれきち
あれこー
あれつき
あわい

句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句

アルモノカ
アルマイ
アラツポイ
アルク
アリ
アラ
アリ
アリ
アリ
アリ
コヅカヒ
アルゾ
アルダラウ
アレヨ
アレゴラン
アレギリ
オブヒバンテン

「そんな事があらっけー」
有るまじ
「あらぼつたい人だ」
歩む
蟻
「ありよー大變だ」
蟻
蟻
走奴
「そこに一つあるせん」
有らん
驚愕せるとき發する聲
「有れこー何だか居た」
「あれつきー來ない」
お負袴纏

あわいに
あわいのきもの
あわたいてる
あわつくい
あわてやま
あわんぼこ
あんおー
あんおい
あんがい
あんきがわるい
あんけつ
あんすり
あんたっち
あんだらぐち
あんちゃ
あんごこ

副 名 句 名 名 名 句 形 名 句 名 代 名 代 名 句

トキドキ
フダンギ
ボンヤリシテ井ル
アハテモノ
アハテモノ
アハ
アレゴラン
アライ
ワルクチ
トクシンセヌ
バカ
ウナヅキ
アナタガタ
ムダクチ
アニサン
アソコ

時々「冬でもあわいに暖い日もある」
平服
「何をそんなにあわたいてる」
「あの人はあわつくいだ」
「あいつはあわてやまだ」
泡
「あんおーきれいだ」
青し
悪口
得心せず
愚者を罵り呼ぶ語
點頭
貴公等
贅辯
兄様
彼處

あんつく
あんでー
あんな
あんない
あんないもー
あんにー
あんにゃ
あんにょーみょー
あんにょーみょー
あんにゃもんにな
あんにょー
あんねー
あんぼらおやむ
あんばいごー
あんはか
あんびん
あんびんもち

名 副 句 句 句 名 名 名 句 句 副 名

バカ
アルイテ
アルデセウ
アンナニ
ヤドカリ
アニ
アニ
アレヲゴラン
アヤフヤ
ナルホド
アネサン
シヨクアタリスル
アワテルコト
バカ
ダイフクモチ
アンモチ

馬鹿
歩みて「あんでー行く」
有らん
かの如く
貝の名
兄、……息子及び下男にもいふ
兄
「あんにょーみょー汽車がくる」
譯の分らぬこと、
誠に「意」物があんにょー澤山ある」
姉さん、下女にも云ふ
「あんまり食ひ過ぎると、あんばらおやむ」
「あんばいごーして逃げる」
馬鹿
大福餅
餡餅

あんびいじや
 あんべーいく
 あんほ
 あんぶ
 あんべあー
 あんま
 あんまー
 あんまいがいる
 あんまがえる
 あんまし
 あんましない
 あんめ
 あんめー
 あんめー
 あんもー
 あんもー

句 句 名 動 名 副 名 名 名 副 名 名 形 副 名 名 句 名 名

アソビニユカウ
 アソビニユク
 シヒナ
 アソブ
 アンバイ
 アマリ
 ムスメ
 アマガヘル
 アマガヘル
 アマリ
 アマリナ
 クワシ
 クワシ
 アルマイ
 オハギ
 モチ

遊びに行かん
 遊びに行く
 糍
 遊ぶ
 塩梅
 「あんまきれいだ」
 娘
 雨蛙
 雨蛙
 「あんまし辛い」
 「手紙もくれんであんましない人だ」
 菓子
 菓子
 「あらじ」さうぢやあんめー」
 萩の餅
 餅

あんもー
 あんもー
 あんやー
 あんりよー
 あんりよー
 あんりよーやれ

名 名 名 句 句 句

モチ
 マヌケ
 ニイサン
 サウデスカ
 アレサウデスカ

餅
 間拔者
 兄さん
 「あんりよー宜しうございます」
 「あんりよーやれお氣の毒さま」

方がしけー
 ーからかん
 ーかん
 ーきに
 ーつけ
 ーなし
 ーに

品詞 言 方

普通語
 イヒマシテゴザイマス
 ヨイカゲン
 ズ非ゲン
 スグ
 ヨカッタ
 イハナイコト
 タガヒニ

意 義 用 例
 「そんな事をいーがしけー」
 「いーからかなんことを云ふ」
 随分「いーかん食った」
 「いーきに使に行け」
 「よい天気でいーつけ」
 「いひなしで居る」
 「髪をいーに結ぶ」

いえ	いお	いおぐし	いがーす	いかい	いかざー	いかざーもの	いかざやい	いかしって	いがす	いかす	いかすか	いかすに	いかつか	いかしって	いかないまやー
名	名	名	動	形	句	句	句	句	動	動	句	句	句	副	句
ウヘ	ウヲ	ウヲグシ	井マス	オホキイ	ユカウ	イキマセウモノ	ユカレル	ユキナサツテ	井マス	ユカウ	ユカウカ	イキマセウカラ	行カウカ	イキナサツテ	イカヌカ
上	魚の古語	魚串	きつと待つて居がーす	大なる意「いかい人だ」	行かん	「私も」一緒にいかざーもの」	行き得	「早くいかしっておいでなさい」	「あすこに誰か居がす」	行かん	行かんか	「いかすにおいでやー」	「一緒にいかつか」	「早くいかしってお出でなさい」	行かすや

【二八】

いかまいか	いがまる	いがむ	いから	いかる	いかんかの	いかんじ	いかんど	いきーわ	いきがーした	いきがす	いきがせす	いきがはし	いきすぎ	いきすまじい	いきつこなー
句	動	名	動	動	句	句	名	句	句	句	句	名	名	形	句
ユカウカ	ミナギル	ユガム	イカリ	アフレル	ユキマセンカナ	ユキマセウ	イナゴ	ユキマセウ	ユキマシタ	ユキマス	ユキマセウ	行キマス	ナマイキ	イキグルシイ	ユカズニ井タ
「公園へいかまいか」	漲る	「家が前へいがむ」	錨	「大雨で水がいかつた」	行かすや	行かん	蝗	「いっしょにいきーわ」	行きたり	行く	行かん	行く	「彼の男はいきすぎた」	「何だかいきすまじい」	「其後更にいきつこなー」

【二九】

いさしかぶり	いざつてやる	いざる	いざろ	いしあら	いじくねる	いじこ	いじは	いじゃ	いじゃえー	いじゃしく	いじゃこさい	いじゃしかぶり	いじゃる	いじゃろ	いじょーはる
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
ヒサシブリ	イツテヤル	ザル	ザル	イシハラ	ワルイデヲハル	モツコ	イシガキ	オイデナサイ	ユカヌカ	ヒサシク	オイデナサイ	ヒサシプリ	ザル	ザル	イデヲハル
久しぶり	「私と一緒にいざつてやる」	箒	箒	小石交りの積地	「いじくねると酷いだ」	藁にて作りたる物を擔ふ道具	石垣	「早くいじゃ」	「早くいじゃえー」	久しく	おいでなされたし	久しぶり	箒	箒	意地をはる

い

【三】

いすかにちごー	いせき	いせくる	いせる	いそはり	いだい	いたびごー	いちはやい	いちら	いちり	いちんちが	いびーらく	いっかり	いっかい	いっかもない	いっきに	いっくり
句	名	動	動	名	名	名	名	名	名	名	名	名	形	形	副	副
タイソウウチガウ	アトトリ	イデル	イデル	イデル	ウニ	ミゾ	イタキレ	イチバンハヤイ	マ	カギリ	アサカラバンマデ	イクド	オホキイ	ナントモナイ	スグニ	ユククリ
大に相違す	家の相續人	「そんなにいせくるとつぶれるよ」	弄ぶ	雲丹	河水を塞ぎ止めて田に水をひく細き溝	板切	「私がいち早い」	「山へいったいちら歸らぬ」	「それいちり遇はない」	終日	幾度	大きし	「この位の事はいっかもない」	「いっきに話す」	「いっくりお休みなさい」	

い

【三】

いびはめ	いびる	いぶせたい	いぶる	いぼきりむし	いぼじり	いぼれ	いまき	いまたんでやま	いまつこ	いまもこ	いみ	いみぞ	いみゃーましい	いみんじょ	いめんぞ
名	動	形	動	名	名	名	名	副	副	副	名	名	形	名	名
ユビワ	エデル	ムサクルシイ	アタル	カマキリ	アリヂゴク	コミゾ	フンドシ	タワイマ	モット	イマガタ	ユミ	ミゾ	イマイマシイ	ミゾ	ミゾ
指輪	燦る	いぶせし	「あの山は日がいぶる」	蟻螂	蟻地獄	小溝の意	犢鼻褌	只今	「いまつと待ちなさい」	「いまもと歸つたばかりだ」	弓	溝	忌々し	溝	溝

【三】

いもじ	いやったいやれ	いやたくなつた	いやにのー	いやり	いら	いらう	いらりゃーせん	いらんた	いらんせんしよ	いるせー	いるもの	いんえ	いんぎゃ	いんぎゃわるい	いんぎょ
名	句	句	句	名	名	動	句	名	句	形	名	副	副	句	名
ユモジ	イヤナコトヨ	イヤニナツタ	イヤデスヨ	アリ	アリ	カリル	井ラレハシナイ	イロイロ	ヨケイナオセワ	ユルヤカ	イレモノ	イイエ	イナ	イヤダ	ベツケ
婦人の腰巻	「この暑いのにいやったいやれ」	「もういやたくなつた」	「そんな事はいやにのー」	蟻	蟻	借る	居る能はず	「いらんたの物がある」	「何もかもすんであゝいるせー」	容器	否定の意「いんえゆかぬ」	否「いんぎゃさうじやなら」	「いやですの意」	別家	

【三】

いんだら
いんに
いんにゃ
いんね

副副副名

イヤラシイコト
イイエ
イイエ
イイエ

「いんだらな奴だ」
「いんにわしは知らない」
「否の意」いんにゃそれではちがう」
「いんねちがひます」

いう

【元】

うさる
うしがつよい
うしやーがった
うしやーがる
うしやーがれ
うじゃらつこい
うしよー
うしよー
うしれー
うしんべー
うするしい
うせる
うせる
うそ
うそのかわ
うそっはぢり

形名動名名代名形

ツライ
ユエ
オマヘラ
ウカ
ウグヒス
モラウ
ウツワ
オホイ

「この仕事はういなー」
故
汝等
「あの話はうかんがで聞いたらわからぬ」
驚
「うけておく」
器
厭ふべきほど多くあること

方言

言

品詞

普通語

意義用例

うさる
うしがつよい
うしやーがった
うしやーがる
うしやーがれ
うじゃらつこい
うしよー
うしよー
うしれー
うしんべー
うするしい
うせる
うせる
うそ
うそのかわ
うそっはぢり

動句句句句句句動

クル
オシガツヨイ
キヤガツタ
ヲル
コイ
キタナイ
ヲレ
ユケ
オシロイ
ウシ
オソロシイ
クル
ヲル
イイエ
ウソ
ウソ

「来ることを罵りいふ語」
「あんなまりうしがつよい」
「来たことを罵りいふ語」
「あすこに泣いてうしやーがる」
「こつちへうしやーがれ」
汚し
「そこらにうしよー」
「あつちへうしよー」
白粉
牛
怖し
「来ることを罵りいふ語」あいつがまたうせる」
「居ることを罵りいふ語」
「そこらにうせるさじやまになる」
「君は本を持って来ましたか。答、うそ」
虚言
虚言

う

【元】

うまい
 うまえー
 うまのめだま
 うまや
 うまやい
 うみいす
 うみゃー
 うまいましい
 うめーやい
 うむい
 うむいす
 うむし
 うむす
 うむす
 うやっこい
 うわやーらー

名 名 名 名 名 名 名 名 形 動 動 形 代

ハハ
 ハハ
 ノブダウ
 ナガヤ
 オカアサン
 シグヒス
 ウマイ
 イマイマシイ
 ハハ
 ウグヒ
 ウグイス
 ヤノムネ
 ヤノムネ
 ムス
 オホイ
 オマヘタチ

母「隣のうまいはどこへ行つた」
 「うまえー菓子を下ださう」
 野葡萄
本屋の側にある建物にて物置場居間
馬屋肥場等に分たる
 母上
 鶯
 甘し
 忌はし
 母「うめーやい子が泣くから乳をのませろ」
 石斑魚
 鶯
 棟
 棟
 蒸す
 多し
 汝等

うら
 うら
 うら
 うら
 うらー
 うらちよっぽん
 うらっぽ
 うらんほー
 うらんまじ
 うり
 うり
 うり
 うりやーましー
 うん
 うんざい
 うんじょー
 うんた

名 名 代 名 代 名 名 句 句 名 名 代 名 名

カハヤ
 ヒガシ
 ワタクシ
 キタノカタ
 オレ
 サキ
 サキ
 サキ
 ワタシノハウ
 ワタシノウチ
 キウリ
 ヲリ
 ウラヤマシイ
 ハイ
 キタナイ
 クラウ
 バカモノ

廁
 「うらにあかみがみえる」
 私「うらか家」
 北方
 「うらー知らねー」
 「筆のうらちよっぽんが切れた」
 尖端
 「うらんほーへも遊びに来給へ」
 私の家
 「あのうりは御世話になりました」
 羨し
 「うんさうだ」
 穢し
 苦勞「うんじょーするが後の爲めだ」
 「このうんためー」

え

えかい
えがむ
えがれる
えぐら
えげにゃー
えごい
えさん
えせる
えぜる
えつけれしい
えっちー
えっほご
えて
えてすら
えてもの
えどろ

形動動名形句名動動形

オホキイ
ユガム
タベラレル
モグラ
イケナイ
エグイ
カケモノ
イヂバル
イヂル
キタナイ
ヲカシナヤツ
ヨホド
サル
イタヅラ
サル

〔菜〕
大きし「えかい魚だ」
「柱がえがむ」
食せらる「蚊にえがれて困る」
鼯鼠
否定の意「それはえげにゃー」
蕨し
軸物
意地張る
弄ぶ
穢し
「あいつえっちーだ」
餘程
猿
悪戯
猿
笹のなき竹の枝

え

えのく
えのこ
えのつちよ
えは
えはる
えびつちよ
えぶくろ
えべす
えぼちやえる
えめぞ
えめんぞ
えらかった
えれ
えれ
えれく
えれがせん

動名名動名名動名名動名名動

ウゴク
エノグ
ミゾ
井バ
井バル
エビ
井ブクロ
エビス
アマエル
ミゾ
ミゾ
ホ子ガヲレタ
ヤレ
ドウゾ
ヤレヤレ
ハイラナイ

〔言〕
動く
繪の具
溝
居場
威張る
鰈
胃袋
蛭子
「えぼちやえる子だ」
溝
溝
「今日はわらかった」
「えれ御苦勞さま」
「あなたえれさうしておくんさい」
「えれえれひごい目にあつた」
入らず

え

えれほんに
えれもの
えれもん
えれる
えれんな
えわ
えんが
えんがー
えんごー
えんじゅー
えんじょ
えんたつ
えんどり
えんのき
えんのこ
えんのころ

感 名 名 動 句 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

コレハマア
イレモノ
イレモノ
イレル
イロくナ
イハ
ラウカ
エンガハ
ワカラナイコト
エンセウ
エンリヨ
エントツ
ヤマボクチ
ノキ
イヌノコ
チヨジョウシ

「えれほんにまあお氣の毒です」
容器
容器
入る
「えれんな事」
岩
廊下
縁側
「あの人えんごーな人だ」
火薬
遠慮
煙突
植物の名
軒
犬の子
草の名

【三〇】

お

えんのころ
えんびー
えんぼり
えんぼる
えんや
えんやつこ
えんやらやつこ
えんらい

名 名 名 動 感 副 副 形

エビ
井ボリ
ムサボル
ヤア
ヤウヤク
ヤウヤク
エライ

柳の花
蝦
堀
貪る
「えんや偉いぞ」
「えんやつと濟した」
「えんやらやつとで来た」
偉し

方

おーいはち
おーえ
おーかめ
おーから

言

名 名 名 名

ダイドコロ
オホカミ
ツヨイキタカゼ

普通語

意

自ら十分なりと思ふ上になほ興へらるゝこと
台所
狼
強き北風

義

用

例

【三〇】

おこじや
おこな
おこんがい
おこんは
おさ
おさしる
おさんは
おしー
おじい
おじきさん
おじっさ
おじがっさま
おじゃんめ
おしーし
おすいほろ
おすかる

動 名 名 名 名 名 句 名 代 句 動 名 名 形 名 名

クワンヨシク
アン
オロソシイ
ママゴト
マイ
ヲシヘラレル
サヤウナラ
オマエ
ソフ
ヲヂサン
ソフ
プツダン
オテダマ
オキノドク
スエフロ
ヲソハル

晝食と夕食との間の間食
餡
怖し
子供の遊びごと
田の一枚の意五粒まで一反もあり
六粒まで一反もあり
教へらる
人と別るゝ時の語(おさらばの轉)
汝
祖父
伯(叔)父様
祖父
佛壇
御手球
「これはくわしーしなごころでございませす」
据風呂
教へらる

おすね
おする
おすんは
おせー
おせーる
おぞい
おぞきマ
おそろしい
おだーら
おだい
おだいじもない
おたき
おたく
おたくら
おたまっこ
おたまっちよ

名 名 名 動 名 句 名 名 形 形 形 動 形 名 名 名

ヤマツツキ
ヤマツツキ
ウチキ
ヨワイ
ヲシヘル
ヲシヘル
タチガワルイ
スゴイ
オホキイ
オダハラ
ザイサンカ
アリガタウ
ヘド
ハク
タヌキネイリ
オタマジヤクシ
オタマジヤクシ

山續き
山續き
小心
「おせー人だ」
教ふ
「おぞい奴だ」
凄し
大し
小田原
財産家
物を貰ひし時の感謝の詞
嘔吐物
嘔吐する
態と眠りたる風をしたること
蝌斗
蝌斗

おてんほな	アガリクチ	上り口
おごさ	オトウサン	父上
おどきやーがる	オドロキカヘル	人の驚くを罵る語「ばかにおどきやーがる」
おどけかーる	ホトケサマ	非常に驚くこと
おどけさん	オドロクダラウ	佛様
おどけす	オドロク	「あの人があきつとおどけすよ」
おどける	ヲット	驚く
おごし	ゲナン	夫
おごごん	スエコ	下男
おごごい	ヲトトヒ	末子
おごてー	イタマシイ	一昨日
おごまし	ヨドム	「やれ〜おとましい事であった」
おごむ	タケノエダ	淀む「砂がおごんだ」
おごろ	ウナギ	竹の枝「おごろ箒」
おなき	オナジコト	鰻
おなしこん		「それでも矢張おなしこんだ」

おなべ	ヨナベ	夜業
おなめ	メウシ	牝牛
おのんき	ヨイテンキ	晴天
おほー	ソボ	祖母
おほく	ムギメシ	麥飯
おほさ	ヲバサン	伯(叔)母様
おほね	ミネ	峯
おはんがく	オテンバ	「あの娘はおはんがくだ」
おひやらかす	ヒヤカス	嘲弄す「あいつめ人をおひやらかす」
おひゅーと	サンブ	産婦
おべーた	オドロイタ	「昨夜は地震でおべーた」
おへつ	オセジ	御世辞
おべんちやら	オセジ	御世辞
おほーこべる	ナマケル	「そんなにほーこへてはこまるではないか」
おほこ	ニンギヤウ	人形
おぼっさん	オバウサン	お坊様

お

おま
おま
おまい
おまいち
おまいちち
おまいちちち
おまいちちちち
おまいんとこ
おまえた
おまはん
おまん
おみよーつけ
おみよーはん
おむいす
おめー
おめーちち
おめーとー

名 名 形 代 代 代 代 句 句 代 代 代 代 句 句 代 代 形 名 名

ウマ
ザシキ
ウマイ
オマヘタチ
オマヘタチ
オマヘガタハ
アナタノイヘ
アナタ
アナタ
オマヘサン
シル
アナタ
ウグヒス
オマヘ
オマヘタチ
オメデタウ

馬
座敷
甘し
汝等
汝等
御前方は
貴家
貴君 貴家
貴公
「おまんところの子供」
汁
貴女
驚
お前
汝等
「おめーとー御座います」

【見】

お

おもつせ
おもよす
おもる
おやいた
おやいた
おやく
おやく
おやく
おやす
おやす
およーじゃ
およーなひと
およーはん
おら
おら
おらん
おりやー

名 名 動 句 句 名 名 動 動 名 名 句 句 代 代 名 名 句 句

オホミソカ
ウグヒス
オゴル
ヲヘタ
シクジツタ
シンル非
シンル非
ワルクスル
ヲヘル
オヤツ
ユツタリシタヒト
ユフハン
オレ
オレ
オレガ
オレハ

大晦日
驚
振まふ「菓子をおもる」
終へたり
失敗「折角書いたがおやいた」
親族
親族
損す
終ふ
晝と晩との間にする間食
鷹揚なる人
夕食
乃公
乃公
「おらん行ったら逃げた」
「おりやー嫌だ」

【見】

か

がいな
がいに
かいらざー
がいる
がいろ
がいろ
がいろつちよ
がいろつは
かえー
かえー
かえーろ
かえしじゃ
かえち
かえつちや
かえらす
がえる

句 副 句 名

ヤウナ
タイソウ
カヘラウ
カハツ
カハツ
カハツ
カハツ
カハツ
オホバコ
カイ
ヤウ
カハツ
カヒ
カハリ
ウラガヘシ
カヘラウ
カハツ

「兵隊さんのがいな洋服を着る」
大層
歸らん
蛙
蛙
蛙
蛙
蛙
車前草
襦
「人のいふがえーにしろ」
蛙
貝
代り
「着物がかえつちやだ」
歸らん
蛙

【音】

か

がえろ
がえん
かおめ
かかさん
かがみつちよ
かがみつちよ
かぎーこ
かぎーた
かきがわ
かぎー
かぎどー
かぎなる
かぎのー
かーく
かぐ
かくね

名 名 動 動 動 名 名 名 句 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

カハツ
オテンバ
カモメ
カミサン
トカゲ
トカゲ
カギ
カクシタ
カケガハ
カクゴ
カギ
カシケル
タノム
カワク
カゴ
カキネ

蛙
お轉婆「この兒はがえんで困る」
鷗
主婦を呼ぶ語
蜥蜴
蜥蜴
鍵
隠せり
掛川
覺悟
竈に掛くる自在鍵
「寒くて手がかぎなる」
「目下の者に依頼すること」
「誰に口きのおきました」
乾く
籠
垣根

【音】

か

かくねる
かくねんぼ
かくわ
かけ
かけうち
かけが
かけすか
かけど
かけんぼち
かこくさい
かこくさい
かこめ
かさ
かさが
かさど
かさねはち

動 名

カクレル
カクレンバウ
カクヤ
カギ
カケオチ
カケガハ
カケツカ
イカリ
カゲバウシ
キナクサイ
キナクサイ
カモメ
ワシ
タケノカハ
クツワムシ
フタモノ

隠る
隠れ遊び
澤庵漬を細く切つたるもの
鍵
騒落
掛川
掛塚
井戸用の小錨
影法師
焦臭し
紙などの燃ゆる臭氣をいふ
鴈
椀
竹の皮
蟬虫
重鉢

【五】

か

かさんまい
かさんまゑ
かじ
がし
がし
がし
がしい
かじぐ
かじくる
がした
かじどり
かじぼろく
がしまめ
がしま
がしや
がしやがしや

名 名

カタツムリ
カタツムリ
ウニ
ワルイ
ヒヨワイ
ヒリクツ
ヨワイ
カタムク
カク
マシタ
ヲシドリ
ウニ
ソラマメ
クツワムシ
カシハモチ
クツワムシ

蝸牛
蝸牛
海膽
「あの人のがし者だ」
怯弱し
非理屈「あの人のがしばかりいふ」
「近頃からだがかしくなった」
傾く
搔く「頭をかじくる」
「致しがした」
鴛鴦
海栗
蠶豆
蟬虫
柏餅
蟬虫

【六】

かつちよー
 かつか
 かつぎ
 かつぎ
 かつぎら
 かつぎり
 かつきり
 かつす
 かつそ
 かつそ
 かつたい
 かつたり
 かつたるい
 かつち
 かつちよーぶ
 かつつく

句 名 名 名 副 副 副 名 名 名 形 形 形 名 名 動 動

ナカマニシテケレ
 ヲクミ、チヨウマ
 カキ
 モグリ
 チヤウド
 チヤウド
 チヤウド
 カウゾ
 サンバツ
 サンバツ
 サンバツ
 カタイ
 ダルイ
 ダルイ
 ダルイ
 カシドリ
 ケンゴ
 ハリアフ

「巳も仲間にかろよー」
 梶
 柿
 潜る「今日もかつぎに行きました」
 丁度
 丁度
 「がつきり何圓になる」
 楮
 散髪
 散髪
 固し
 「病氣でかつたりー」
 「腹がへってかつたるい」
 檉鳥(忘ればうを罵り呼ぶに用ふ)
 堅固
 匹敵す

かつてーぼー
 かつばたいた
 かつほる
 かつびき
 かつほかす
 かつほらかす
 かつもり
 がつら
 かつんぼー
 かで
 かでしい
 かつてもの
 かてる
 かど
 がと
 がとーな

句 名 動 動 名 動 動 名 動 動 名 形 名 名 副 副

ライビヤウヤミ
 ヤリソコナツタ
 ウツ
 サウオウ
 ナゲダス
 ナゲダス
 ナゲダス
 ヤヘナリ
 ナガラ
 テンビンボウ
 カビ
 コスイ
 オカズ
 イツシヨニスル
 トウナン
 ヨク
 タイヘンニ

癩病患者
 「ちよつと口出してかつばたいた」
 「頭をかつばるぞ」
 相應「かつびきな家の人」
 抛出す「石をかつほかす」
 「ぐづぐづ言ふとかつほらかすぞ」
 緑豆
 「食事しがつら本を讀む」
 天秤棒
 風
 「随分かでしい人」
 副食物
 「君も仲間にかてるから來い」
 東南
 「がと出来るだらうよ」
 「あの人はがとーに大きい人だ」

かどい
かどり
かなえ
かなえ
かなけ
かなご
かに
かに
かにしよ
がにも
かにもぐら
かにんべい
かのき
がはー
がはらうち
かぶつ

形 名 副 名 副 名 名 名 名 副 句 名 名 名 名 名 名 名 名 名

カシコイ
カナリ
カナイ
タイソウニ
カナグ
カンニン
カニ
カンニンシナサイ
イカニモ
ヤドカリ
カニ
カヌキ
マセウ
オタマジャクシ
アバタ

敏捷又狡猾の意
土を取りて畚に入れる役
「かなえよく出来た」
家族
大層に
金具
堪忍
蟹
堪忍せよ
「寒くてがにもがまんが出来ない」
寄居蟹
蟹
香貫(地名)
「それならやめがはー」
蛸斗
痘痕

かぶる
かま
かま
がま
がまー
がまい
かまーねー
かまいたち
かまぎつちよー
かまつきり
かまぶく
かまんど
かまんぼ
かまんぼー
かまんぼら
かみすり

動 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

カジル
アナ
カマド
イタヅラモノ
ナブル
カマハヌ
ニセモノ
ツムジカゼ
カマキリ
カマキリ
カマボコ
カマド
カマド
カマド
カマドキハ
カミノリ

嚙る
穴
窟
「この兒はがまで困ります」
瓢る
「何んでもかまーねー」
贖物
旋風
蟻螂
蟻螂
蒲鉾
窟
窟
窟
窟際
剃刀

か

がむしやら
かめんじょー
かめんど
がめる
かもー
がもつ
かもぼこ
がや
かやし
かやす
かやっさー
かやつた
かよる
から
がらい
がらいか

名 名 名 動 動 名 名 名 名 動 動 名 名 名

アラアラシイコト
カメ
カメ
ガツカリスル
カラカウ
カサバリモノ
カマボコ
カヤ
トリノクソ
カヘス
ウラガヘシ
ウラガヘシ
カヘル
マルデ
ツイ
ツイ

「がむしやらな人だ」
龜
龜
落膽す
「誰がかもーから困る」
嵩ばる物
蒲鉾
樵
鳥糞
返す
裏返し
「着物がかやつたになった」
歸る
「からだめた」
「がらい落した」
「がらいか茶碗をこはした」

【音】

か

からいー
がらえー
からかいて
からかす
からげ
からす
からつきり
からだ
からだ
からだ
からまめ
がらり
がらん
からんつー
がりやー
がりーやか
かるか

句 副 句 動 名 名 副 名 名 名 副 名 副 副 名 副 副 名

クチワル
ツヒ
ムリニツレテ
テヲケ
ワスレバウ
スコシモ
カラダ
カラダ
カラダ
ラツカセイ
ツイ
ツイ
ツイ
カラ
ツイ
ツイ
サクヂヤウ

口悪の人
「がらえー失策しました」
「からかいて来て打て〜」
「一心にすると」仕事をやりにからかす」
手桶
「この子はからすだ」
「からつきり文字も知らない」
身體
身體
落花生
「がらり忘れた」
「がらん落した」
空虚「この箱の中はからんつーだ」
「がりやー落した」
「がりやーか毀した」
朔杖(銃の)

【音】

きびがいー
 きびきび
 きびし
 きびじょー
 きびす
 きびた
 きびつちろ
 きまきま
 きまじちなし
 きもやけたい
 きまん
 きゃー
 きゃー
 きゃーがった
 きゃーがれ
 きゃーきゃー

句 副 名 名 名 名 名 名 名 名 名 動 句 名

キミガヨイ
 ケチ
 キフス
 キフス
 キフス
 シハンバウ
 ケチ
 キツバリ
 キユクツ
 キモガイレル
 キモノ
 カイ
 カ
 キタ
 コイ
 カイクワイ

「それみろきびがいー」
 物吝みする意「きびくするな」
 急須
 急須
 急須
 物吝みする人を罵り云ふ語
 吝嗇
 「寸法通りきまきも作る」
 「寝たつたら首がきもつちなしだ」
 「ほんとにきもやけたい事だ」
 着物
 會「青年きゃー」
 「さへ行ったきゃー」
 「又乞食がきゃーがった」
 「さつさときゃーがれ」
 開會

きゃーつちや
 きゃーて
 きゃーる
 きゃーる
 きーるばーさん
 きゃーろ
 きゃーろ
 きゃーろー
 きゃえー
 きゃきやす
 きゃした
 きゃせん
 きゃつくり
 きゃま
 きゃーち
 きゃーと
 きゃーさん

名 句 動 名 名 名 名 名 名 名 名 動 句 名

ウラガヘシ
 カイテ
 カヘル
 カハヅ
 カハヅ
 カハヅ
 カハヅ
 カヘラウ
 ヨリアヒ
 ヨシハラスマ
 キマシタ
 キマセン
 シヤツクリ
 キガマ
 ギウニウ
 タクサン
 タイソウ

「着物がきゃーつちやだ」
 「きゃーておく」
 歸る
 蛙
 蛙
 蛙
 「早くきゃーろー」
 會合
 葦原雀
 來れり
 「誰々はまだきゃせん」
 「きゃつくりが出る」
 木をきる道具
 牛乳
 「きゃーとつめこむ」
 「きゃーさんなことを云ふ」

けっからかす	蹴仆す
けっかる	「ここに大きな三毛猫が隠れてけっかる」
けつくする	「蛇にあつてけつくする」
げっこ	下駄 (小兒語)
けっこー	「けっこーわすれた」
けっこい	「けっこい花が咲いてゐる」
げっそりした	「来たばかりでげっそりした」
げつつ	釜斯
けつね	狐
げとげと	「如何にも面白い様にげとげと笑ふ」
げどもと	勝手元
げな	「誰彼は東京に行くげな」
けなし	悲し
けなり	羨し
けら	啄木鳥
けらつとー	啄木鳥

けらほつき	啄木鳥
けんけ	毛、小兒の語「けんけをしぼつておくれ」
けんげ	紫雲英
けんげ	下駄 (小兒語)
けんげー	下駄 (小兒語)
けんけあめ	細雨
げんじ	袋
げんじき	虫の名
けんすりぼーし	申柿
けんど	「それもさうだけんど」
けんども	「それもさうだけんども」
けんどもこ	「さうだけんどもし」
けんどん	「あの人はけんごんな人だ」
けんやく	儉約
けんぷらもない	「人の来たやうなけんぷらもない」
けんびー	下卑の意「けんびーな風」

方	言	品詞	普通語	意義	用例
こーいに	カウイフフウニ	句			「こーいにすればよい」
こーおいらせる	キヲモマセル	句			焦慮せしむ
こーおやく	イキドホル	句		憤る	
こーがにえる	キモガイレル	句			「あの子にはこーがにえる」
こーがねーる	キモガイレル	句			「馬鹿にされるとこーがねーる」
こーじつこー	ウシノコ	名		犢	
こーだい	シルワン	名		汗梳	
こーたれる	ナキサワグ	動			「あんなにこーたれる」
こーちゃ	コノゴロ	句			此の頃
こーこ	コノヤウ	句			「こーとにやれ」
こーどく	ワタクシ	代			私
	ハビコル	動			蔓延す

動	名	名	句	名	名	名	名	形	動	動				
マヘニカガム	マゲモノ	カウイフフウニ	カウモリガサ	カウモリガサ	セワヤカセ	オイデナサイ	メンダウ	モノオキ	タフス	シロダモ	イマ〜シイ	ウツ	イフ	
前に屈む	襪	曲物	「こーふになつた」	洋傘	洋傘	「このこーやかせにも困る」	「私と一緒にこいえれ」	面倒	物置小家	「あさつての翌日	倒す「木をこかす」	植物の名	「あんまりこきがわるい」	打つ
													云ふといふ意の罵り詞「何をこくだ」	

こぐ	ムク	抜く
こくえ	スツカリ	悉皆
こくす	ゴミ	塵埃
こくりに	イツシヨケンメイニ	一所懸命に
こくる	コスル	擦する
こけー	ココへ	「こけー來な」
こけーら	ココイラ	この邊
こける	タフレル	倒る
こくてに	コドトニ	戸毎に
ここんすは	ココノツバ	ここの側
ここんそは	ココノツバ	此處の側
こぞい	オイデナサイ	「私の方へござい」
ござえーす	ゴザイマス	「左様でござえーす」
ござえーる	ツクル	拵ふ
ござりがす	ゴザイマス	「お早うござりがす」
こさる	ハイル	「湯にござりなさい」

ござらつしえー	句	オイデナサイ	「またどうかござらつしえー」
ござんすら	句	ゴザイマセウ	「さうでござんすら」
ござんへん	句	ゴザイマセン	「そこには何もござんへん」
こじ	名	フモト	麓
こじけ	名	イモノコ	芋の子
こじどけ	名	ユケ	行けといふ意の罵り詞
こじゃ	名	コヲケ	小桶(勝手道具)
こじやえーる	動	ツクル	晝飯と夕飯との間の間食
こじょ	名	イモウト	「大工さんが大きな家をこじやえーる」
こじょーし	名	オキノドク	妹娘
こじょーすけ	名	ユヅル	物など貰ひし時に用ふる謝辞
こす	動	ケチ	嫁入の時にいて行く老女
こすい	形	チイサイ	「君の着物をこして下さい」
こすい	形	クルノハ	吝嗇の意
こすと	句		「こすい犬がをります」
			来るは「こゝへこすとおよし」

こてー	テイシユ	亭主
こでん	ゴゼン	飯
こどー	コゾツ	小僧
こども	ヨドム	沈殿す
こな	アン	餡
こないだ	チカゴロ	「こないだは天気がつく」
こにゃーか	コナイカ	來らぬかの意
このー	コノ	「このー人」
このか	コレ	此物の意
このがる	カガム	屈む
こほ	ハシ	端
こびた	チイサイ	「こびた野郎」
こびる	ヤケバ	「胸がこびる」
こびつつく	コゲツク	「此飯はこびつついた」
こべーた	コボシタ	「水をこべーた」
こぼる	クバル	配る

こまます	ヤリヌク	動
「まんざらに	クマデ	名
こや	ツキヤク	名
「らっかい	タイソウ	名
「らっじやー	オデナサイ	句
「らっじやい	オイデナサイ	句
「りせー	ナンギ	名
「れつきし	コレダケ	副
「れやー	コレハ	副
「ろー	ゴラン	動
「ろーじ	ゴラン	動
「ろしち	ゴラン	動
「ろじょー	フクロフ	名
「ろすけ	ゴラン	名
「ろちち	フクロフ	名
「ろつと	フクロフ	名
	スツカリ	副

「専心に事をやりぬく意
「裁縫をやりまして遂にこました」

熊手

月經

「こらっかいな魚だ」

「またこらっじやー」

「こちらへこらっじやー」

「こんなにこりせいでばやりまねぬ」

これ限り

「これやーよい事です」

「あんどこをころー」

「あれをころーじ」

梟

「あれをころじょー」

梟

梟

「ころつと忘れた」

ごろた	名	ヒキガヘル	墓
ごろんじよい	句	ゴランナサイ	「よくごろんじよい」
こわい	形	セツナイ	「押されてこわかった」
こわえー	形	セツナイ	「こわえーほど働く」
こわける	動	ヤブレル	「根根がこわける」
こわし	名	ナガレキ	流木
こん	名	コト	「そんなこんで泣くのか」
こんき	名	クルシイ	根氣強きの意「こんきな事だ」
こんきー	形	ハラガタツ	「こんきーなあ」
こんぐさる	動	ケツシテ	「あんな事を言はれてはこんぐさる」
こんげん	副	コジキ	「こんげんそんな事はしない」
こんじー	名	コジキ	乞食
こんじき	名	コノゴロ	乞食
こんじゅー	句	ミツコシ	此の頃
こんじゃろ	名	コジキ	味噌漉
こんじん	名		乞巧

こんぞー	名	コンド	浮浪の土方
こんた	名	コトダ	今度
こんだ	句	ゴタマゼノモノ	「困ったこんだ」
こんたくもろ	名	コノチクシヤウ	「こんたくもろを始末する」
こんちきじゅー	句	コノチクシヤウ	「こんちくしーめ」
こんつくしー	句	カウイフフウニ	此の畜生
こんでに	句	コノトコロ	「こんでに申しました」
こんごこ	句	コノヤウニ	「こんどこにある」
こんなたに	副	コンナニ	「こんなたになった」
こんに	副	マ、ゴトアソビ	「こんに足をきづつけた」
こんば	名	チイサイ	「こんばをしよう」
こんびきさい	形	チイサイ	「こんびきさい猫だ」
こんべー	形	ゴブゴブ	「こんべーことだ」
こんべー	名	ゴバウ	平均對等の意「ごちうにしてもこんべーだ」
こんぼー	名	フトコノコ	牛蒡
こんぼー	名		男兒

一ノ五

こんぼーい
こんぼけ
こんや
こんやく

形 名 名 名
チイサイ
コヲケ
コエヤ
コンニヤク

小し
小桶
肥屋(肥置場)
葎蕪

〔六〕

ル

方 言
さ
さー
さー
さー
さー
さー
さー
さー
さー
さー

品 詞 普通語
形 名 名 副 名 尾 名 尾
サン
サヤ
サン
サハ
タクサン
シブキ
ユゲ
ヒサシイ

意 義 用 例
様「誰さ」
茨
様「誰さー」
澤
澤山
「さーけがかかる」
湯氣
久し

ル

さーたれる
さーつきもの
さーべら
さーや
さーら
さーらーつく
さーらば
さーらんぼ
さーり
さーる
さーる
さいが
さいがら
さいくほな
さいくほー
さいくほー

動 名 名 名 尾 尾 動 動 尾 句 副 動 尾 名 名 名 動
サワグ
アワテモノ
サーベル
サハ
ソノママ
ノメル
チヨツトスルト
サハルナ
ソノママ
サハル
スワル
レンゲサウ
井ナカモノ
サト

騒く「あんまりさーたれるな」
軽躁者
洋刀
澤
「その入物さーら持って来い」
前へ仆る
「彼人はさーらば怒る人だ」
「入物さーらば」
「入物さーらば貫つた」
「入物さーらば貫つた」
觸る
坐す
「さーにはの如き意」さーりするさーらば
さいがに同じ
紫雲英
田舎者
實家

〔七〕

さいじめん
 さいた
 さいな
 さいな
 さいなら
 さいに
 さいにゃー
 さかい
 さかいけ
 さかえーま
 さがよー
 さえこ
 さえな
 さえんもの
 さおら
 さまのおとつい

名 句 句 句 句 尾 尾 尾 名 名 名 名 名 名 名

センコク
 サシタ
 サヤウナラ
 サヤウナラ
 サヤウナラ
 デアルカラ
 サカヤキ
 サカヤキ
 ニシカゼ
 サイク
 サヤウナラ
 ヤサイモノ
 サキヲトトヒ

先刻
 挿せり
 「さいな御機嫌よう」
 「さいな御機嫌よう」
 「さいなー又明日」
 さいがに同じ「冬が来るささいに寒くなる」
 「さうするとささいにゃー」
 「さうするとさかい」
 月代
 月代
 西風
 細工
 「おやかましようござえしたさえな」
 菜園物の意
 田植初のこと
 一昨々日

さく
 さくい
 さくる
 さくる
 さくれる
 さけー
 ささみ
 ささぼる
 ささんほ
 さしく
 さすむ
 さすむ
 さだい
 さたがしい
 さっ
 さっかけさい

副 形 動 動 動 動 副 名 動 名 副 名 動 名 形 頭 形

タクサン
 タヤスイ
 カジル
 タガヤス
 タハムレル
 サキニ
 チガヤ
 エリダス
 ササノハ
 ヒサシク
 ザシキ
 ネラウ
 サザエ
 サワガシイ
 アラアラシイ

澤山
 容易し
 「犬にさくられた」
 耕す
 戯る
 「人よりさけー出る」
 茅
 選擇す
 笹の葉
 「さしく遊んだ」
 坐敷
 「猫が鼠をさすむ」
 蠨螺
 騒し
 「さっ付けろ」
 「さっかけさい人だ」

さらん	句	サンノ	「誰さらん家」
さるぼー	名	カタテヲケ	片手桶
さわたれまわる	動	ウロツク	徘徊す(あばれる意を含む)
さん	頭	サシ	「あつちの方へさん出す」
さんげんび	名	トノサマガヘル	殿様蛙
さんこち	名	ヨネマンヂユウ	米饅頭
さんぎ	副	サンザン	「さんざ遊んで来た」
さんぎ	名	シグレ	時雨
さんざいは	名	ウマステバ	弊馬等を乗る處
さんざつばら	副	サンザンニ	「さんざつばら遊んで来た」
さんすりゃー	句	サヘスレバ	「かうしさんすりゃー大丈夫だ」
さんだ	副	サンザン	「さんだ待ってゐた」
さんだす	動	サシダス	差出す
さんたら	副	ヒサシク	長時間の意「さんたらやって居た」
さんたらぼーし	名	サンダハラ	棧俵
さんち	句	サマタチ	様達「皆さんち」

さんでき
さんならしい
さんば
さんむしい
さんもしい
さんらい

名 形 形 形 句 形 名
ヨソユキ
ヒドイ
サヤウナラ
スサマジイ
スサマジイ
アサイ

晴着
「さんならしい音がした」
「さんば又あした」
「さんむしい蛇だ」
「さんもしい蛇だ」
「さんらい池だ」

し

方	音	品詞	普通語	意義	用例
しーっしやい	シ	句	ナサイ	「早くしーっしやい」	
しえーわく	シ	名	シヨヒコ	背負子	
しえん	シ	名	セン	錢	
しえんしえー	シ	名	センセイ	先生	
しかい	シ	副	シダイニ	次第に	
しがさつて	シ	名	シアサツテ	明々後日	

しかしか	副	シヨシヨ	「しかく」花が咲く
しかしか	副	ハキハキ	「しかしか片付けろ」
しがせん	句	シマセン	「さうはしがせん」
しかれる	動	シカラレル	叱らる
しき	名	ホンタウ	本當「しきの兄弟」
しき	名	ソコ	桶などの底
しきや	關	シカ	「これしきやない」
しぐ	動	シヌ	死ぬ
しきた	名		役に立たぬ人を呼ぶ言葉
じくつ	名	リクツ	理窟
じくつたれ	名	シツチ	湿地
じくどー	名	ミジク	未熟
しげ	名	シギ	鳴
しげ	動	シネ	死ぬ
しける	動	ノセル	「机に付けてある本をおくれ」
しげる	動	オゴル	驕る

じこたま	副	リコウ	伶俐
じざらに	副	タクサン	「じこたま持つて来た」
じされ	句	シナサイ	「爲まで止まんやの意 「勝手にしやうがれ(答)じざらに」 「さうじされ」
じじくつた	句	シクジツタ	失策せり
じしっからい	形	シホカライ	塩辛し
じじむ	動	ニジム	「墨がじじんだ」
じす	動	シユス	繻子
じす	動	シヨウ	爲さん
じす	動	ジュズ	珠數
じすか	名	ヂメン	地面
しせき	名	タクチノキ	宅地ノ樹木
しぞーか	名	シヅヲカ	静岡
じぞろ	名	フソロヒ	「足並がじぞろだ」
したいぐち	名	ヒタイ	額
したこ	名	シタク	支度

し

したべら
 したべろ
 じちなし
 じちもない
 しちよー
 しっか
 しっかえー
 しっかり
 しっくりかえす
 しっこたま
 じった
 じつなし
 じっは
 しっはたく
 しっばね
 しつら

句 名 動 名 名 名 副 句 副 副 副 句 句 名 名 名

シタ
 シタ
 イクヂナシ
 ラチモナイ
 スルナ
 タクサン
 スツカリ
 タクサン
 ヒツクリカヘス
 タウサン
 シタ
 イクヂナシ
 リツバ
 ウツ
 ハネ
 シタラウ

舌
 舌
 意氣地なし
 しまりなき意「じちもない事をするな」
 「悪戯をしちよー」
 澤山
 悉皆
 澤山
 覆す
 「しっこたま持って来い」
 舌
 意氣地なし
 美麗の意
 打擲す
 「着物へしっばねがかかった」
 「勉強しつら」

【108】

し

してあーぐち
 してちよー
 してーもの
 しご
 しどおか
 じところ
 じとつて
 しない
 しなつてー
 しなはち
 しなはんな
 しなべる
 しぬ
 しぬく
 しのは
 しのはち

名 句 名 句 動 句 名 句 名 句 名 名 同 名 句 名

ヒタヒ
 シタクダサイ
 ヒトヘモノ
 ヒト
 シヅヲカ
 フトコロ
 ヒトリデ
 モヤヒ
 シナイデ
 スリバチ
 シナサルナ
 シラベル
 セヌ
 イチヅニスル
 スリバチ

額
 「之をかうしてちよー」
 單衣
 人
 静岡
 懐
 「しとつて食べてしまった」
 共有「しないにせざー」
 爲さずして
 播鉢
 「そんな事をしなはんな」
 調ぶ
 爲す
 「仕事をしぬく」
 鯛の兒
 播鉢

【107】

しほつかーら	シバハラ	芝原
しはや	シバ井	芝居
じはん	ジュバン	襦袢
じびた	ヂメン	地面
しびった	シマツタ	失敗せり
しびったれ	ケチ	吝嗇
しびとい	ヅウくシイ	「しびとい人だ」
しぶ	アバタ	痘痕
しべー	シヨウ	爲さん
しみこん	コホリゴンニヤク	氷蒟蒻
しみっぼい	ナレナレシイ	「初めて逢ったがしみっぼい人だ」
しみゃー	シマヒ	「こんでしみゃーだ」
しみり	シメリ	甘雨
しみる	シモゲル	凍焦る
しむ	シヌ	死ぬ
しめーる	シメル	浸む

しめりぼったい	シメツポイ	「此の着物はしめりぼったい」
しめる	トラヘル	捕ふ
しもつちャーら	シモノアルチ	霜のある地
しもろ	シヅム	沈む
じゃー	デハ	「これでもいーじゃーないか」
じゃーこ	ヒシヤク	柄杓
じゃーせ	シアハセ	仕合せ
じゃーだ	シワザ	仕業
しゃがみつちョー	シヤガム	躊躇
しゃかん	サクワン	左官
しゃーく	ヒシヤク	柄杓
しやく	ヒシヤク	柄杓
しゃぐま	アバレヲンナ	粗暴の女「あれはしゃぐまだ」
じゃくろ	ザクロ	柘榴
じゃけら	アドケナシ	無邪氣
しゃじゃむ	カガム	屈む

し

しゃんな
 じゅーごやはな
 しゅーとんびん
 しゅーもん
 じるい
 じゅんるくたい
 じゅー
 しょーがない
 しょーがにゃー
 じゅーぐち
 しょーこごなし
 しょーし
 じゅーし
 じゅーすー
 じゅーすぐ
 じゅーすく

句 名 名 名 形 形 名 句 句 名 句 句 句 動

ナサルナ
 シラン
 コホロギ
 コセキ
 ヤハラカイ
 ヒドクヤハラカイ
 ショウブナシ
 シヤウガナイ
 シカタガナイ
 カドグチ
 シカタナシ
 キノドク
 レフシ
 ジャウツニ
 ジャウツニ
 イデル

「行かしゃんな」
 紫苑
 蟋蟀
 戸籍(昔宗門にて戸籍を取扱ひしよりかくいふ)
 「雨で道がじるい」
 道路泥濘等の時に用ふ
 持の意「此の角力はじゅーだ」
 詮方なし
 「しょーがにゃーから廢めよう」
 門口
 「しょーことなしに承知した」
 「しょーしな事だ」
 漁師
 上手に
 上手に
 弄ぶ

【二三】

し

じゅーだ
 じゅーたん
 しょーとく
 しょーな
 しょーに
 じゅーの
 しょーびゃー
 じゅーほー
 じゅーや
 じゅーや
 じゅーり
 じゅーりき
 じゅーりつき
 じゅーりにん
 じゅーる
 じゅーる

句 副 副 名 副 名 名 名 名 句 副 名 副 動 動

マシダ
 タビタビ
 ホンタウニ
 コウヂ
 ホンニ
 イツモノ
 シヤウバイ
 リヤウハウ
 チヌシ
 タビタビ
 ザウリ
 シヤウヂキ
 タミツキノゲタ
 レウリニン
 イデル
 レウル

「その方がじゅーだ」
 「じゅーたん御苦勞さま」
 本當に
 小路
 「あの人はしょーによい人だ」
 平生の
 職業
 兩方
 地主
 度々
 草履
 正直
 表附下駄
 料理人
 弄ぶ
 料理す

【二三】

し

じょーろ	じょーろり	じょーんだ	じょいな	じょえん	じょえん	じょく	じょくなる	じょける	じょける	じょじょー	じょすむ	じょつから	じょつからい	じょつきり	じょつこ
名	名	名	名	名	名	名	動	動	動	動	動	形	副	副	副
サン	ジャウルリ	ジャウツダ	シヨイワク	シヨ井ン	ユエン	ツクエ	シヤガム	タフレル	フザケル	ドゼツ	ツマム	シホカラ	シホカライ	キビシク	イビツ
女郎の意「おたけじょーろが来る頃だ」	淨瑠璃	上手なり	脊負梓	書院	油煙	机	踞る	仆る	巫山戯る	鱒	「しよすみ食ひをする」	鹽辛	鹽辛し	「しよつきり叱つた」	「此團子はしよつこになつた」

【一四】

し

しよつこすみ	しよつこー	しよつちゅー	しよつき	しよてつ	しよつは	しよなつく	しよつはい	しよつはり	しよつほらい	しよび	しよびく	しよぶく	しよへーら	しよぼたれる	しよみよはかでない
名	名	名	名	名	名	動	形	形	形	名	動	動	句	動	句
ノコリモノ	チデレゲ	イツモ	ハシ	ソテツ	ハジメ	ブラブラアソブ	シホカライ	シホカライ	シホカライ	シホヒ	ヒク	ヒク	ハウパウ	オホヌレニヌレ	スコシバカリデナイ
殘物	頭髮の縮れて延びざるもの	「しよつちゅー来る人だ」	先端	蘇鐵	「今日はしよつばに何々をする」	ひまであそぶ	鹽辛し	鹽辛し	鹽辛し	沙干狩	「兩方から綱をしよびく」	曳く「身をしよぶく」	諸方	「雨にしよぼたれる」	少からず

【一五】

しょうろ	しょうろける	しょうろく	しょうろま	しょうろりん	しょうんじょくなる	しょうんじり	しょうんすくなる	しょうんなー	しょうんない	しょうんなり	しょうんはい	しょうんはらくさい	しょうんぶく	しょうんぼけ	しょうんべや
名	動	副	名	句	動	名	動	名	形	名	形	形	動	名	名
シユロ	タフレル	ソロく	ノロマ	ソロリく	カムム	オクビヤウ	カムム	シヨイナハ	シカタナイ	ミナリ	シホカライ	セウベンクサイ	ヒキハル	セウベンヲケ	セウベンジヨ
棕櫚	倒る	「しょうろく歩む」	「此しょうろまめ」	「しょうろりんく歩く」	屈す	臆病	屈す	脊負繩	「いたづらでしょうんない」	容態「あの人ほしょうんなりがわるい」	「此の味噌はしょうんばい」	小便臭し	引張る	小便桶	小便所

しんほけや	しらかー	しらかわ	しらち	しらめ	じりー	しる	じるい	じるくつたい	じれー	しろ	しろねこ	しわい	しん	しんえーる	しんがつまめ
名	名	名	名	名	名	動	形	形	形	名	名	句	動	名	名
ベンジヨ	アツカマシイ	アツカマシイ	スリバチ	シラミ	ヌカリ	スル	ヤハラカイ	ヌカル	シロイ	シユロ	ノロイ	セヌ	シラレル	ソラマメ	ソラマメ
便所	「耻も外聞も思はぬ事」しらかーな女だ」	「誰はしらかわだ」	摺鉢	虱	泥濘「じりー路だ」	爲す「仕事をしる」	軟し「此道はじるいなー」	「雨が降て道がじるくつたい」	白し	棕櫚	表面美しく裏に違心ある人	「足がしわいから後れた」	爲す	「この事をしんえーるか」	蠶豆

す

すそはき
すだい
すだいこたい
すつか
すっこぬける
すっこかぶり
すっこける
すっちよーない
すつとぶ
すつなし
すつはい
すつはり
すつびやー
すつぽー
すつぽい
すてきもない

名 副 名 動 句 動 句 動 名 副 副 名

ススハキ
スコシモ
マルデ
オタガヒ
ヌケル
ホウカブリ
ヌケル
プアイサウ
マタギトブ
イクチナシ
スイ
スツカリ
スイ
ツツソデ
スイ
タイヘンニ

煤掃
少しも「此の鎌はずだい切れねー」
「ずだいこたい話しにならぬ」
お互
「結んで置いてもすっこぬける」
頬被り
「繩がすっこける」
「あの人はすつちよーない人です」
「堀をすつとぶ」
「すつなしな人だ」
酸し
「家も倉もすつぱり焼けた」
「此の梅はたいへんすつびやー」
窄袖
酸し
「すてきもない高い木」

【三三】

す

すてつぺん
すてつはち
すてはち
すでる
すでんじ
すつぺん
すなご
すなし
すなはち
すなんぼ
すねー
すねっこくり
すねんぼー
すのはち
すのんき
すはくれる

名 形 形 動 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 動

イタダキ
スグレテオホキイ
オホキイ
シボム
シユゼンジ
チャウジャウ
スナホ
ツヨイコト
スリバチ
スナバ
ツヨイ
イデマガリ
スネ
スリバチ
ノンキ
ズルケル

「山のすてつぺん」
「そんなにすてつぱちの事を云ふな」
「西洋人はすてばちだ」
萎む
修善寺
頂上
素直「すなごな兒だ」
「おまへはずなしだよ」
播鉢
砂場
「あの人はすねー」
意地まがり「あのすねっこくりめが」
脛
播鉢
暢氣「すのんきな奴」
狡猾にて仕事を怠ること

【三三】

す するく するたん するも するろ すんご すんじャー すんすくじ すんでに すんどー すんない すんに すんぬける すんは すんはー すんぶらと すんべ	副 副 動 副 形 副 名 句 名 名 名 名 副	サカンニ ナマケル ヤブ ナゲヤリ カジカ ソレデハ ツクシ ホトンド トホリ ツヨイ ジエンニ ヌケル オクビヤウ オクビヤウ ザンブリト コガメ	「火をするく燃して下さる」 怠慢 荆の繁茂したる地 亀漏 河鹿 「すんじャー参りませう」 土筆 「すんでに川へ落ちるときであった」 道なごの通り 強し 順次に 「縛ってもすんぬける」 臆病 臆病 「水の中へすんぶらと飛び込んだ」 小瓶
--	---	---	--

す

【三三】

すんみ すんみし	副 副	スコシモ スコシ	少しも 「酒をすんみしのみぬか」
方 ぜ せー せー ぜあーご せーか せーから せーさい せーじ せーじャー せーじょー	感 副 句 句 句 名 句 副 名 句 名	ヨ ユエニ ナサイ 井ナカ ソレカラ ソレカラ セイゼイ エタ ソレデハ キンベン	「これは面白いぜ」 「あなたのせーに馬鹿を見た」 「行きなせー」 在郷 「せーかごうした」 「せーからかうした」 「せーさい勉強致します」 穢多 「せーじャー行かう」 「せいじょーの子を持って親は幸だ」

ぜ

すせ

【三三】

せ
せんまつたい
せんみつ
せんめ

形 名 名

セマイ
ウソ
セミ

「せんまつたい座敷だ」
「せんみつを云ふな」
蟬

【三三】

そ

方 言
そーきやー
ぞーし
ぞーしはん
そーすら
そーせるこ
そーだかい
そーだちゅー
そーだつー
そーでがんす

品 詞
句 句 句 句 句 句 名 名 句

普 通 語
サウデスカ
ダイドコロバタラキ
ダイドコロバタラキ
サウデアラウ
サウスルト
サヤウカ
ソウダトイフ
サウダトイフ
サウデゴザイマス

意 義 用 例
「ほんとにそーきやー」
雑仕
雑仕番
然らん
「そーせるとかうなる」
「ほんとにそーだかい」
「ほんとにそーだちゅー」
「あの病人は死にそーだつー」
然り

そーでがんはー
そーですのー
そーは
ぞーはれる
そーましー
ぞんやく
ぞーろり
そい
そいから
そいつ
そいで
ぞえる
そがい
そけーら
そこんそは
そそ

句 句 名 動 句 句 句 名 名 名 形 動 名 句 句

サウデゴザイマス
サウデスタネ
子バリケナイコト
タハムレル
サウザウシイ
メウマ
ジャウルリ
セイ
ソレカラ
ソノモノ
ソレユエニ
フザケル
ソノヤウ
ソノヘン
ソコ
スソ

然り
「はあそーですのー」
「黍餅はそーばです」
「そのやうにぞーはれるな」
騒がし
牝馬
淨瑠璃
所爲「自分のしたことを人のそいにする」
「そいからごうした」
其奴
其故に
巫山戯る
「そがいな事はしてならん」
「そけーらにあらすか」
其處
裾

【三三】

そそっかち
 そそっはち
 そつ
 そつくら
 そつこ
 そのいちら
 そのいちら
 そのいと
 そのけ
 そのの
 そのほり
 そはえる
 そびくれる
 そめ
 そやかす
 そやす

名 ソツツカシイ
 名 カルハズミ
 名 ムダ
 副 ソノママ
 句 ソノトコロ
 句 ソノママ
 句 ソレギリ
 句 ソノウチ
 句 ソレホド
 代 ソレ
 句 ソノヲリ
 動 フザケル
 動 ハヅレル
 名 カカシ
 動 オダテル
 動 オダテル
 動 オダテル

粗忽
 軽卒
 「かうすればそつがない」
 「そつくら残つた」
 「そつとこにある」
 「飯を食つてそのいちら出て行つた」
 其時限り
 「そのいとに分る」
 「そのけに暑くもない」
 「そのの持つて来い」
 「あの人に逢つたそのほりに話した」
 「そんなにそばえると叱られる」
 脱す
 案山子
 煽動す
 教唆す

そりゃー
 それじゃー
 それだ
 それだんで
 それだもんだで
 それほつか
 そろっはい
 そろっはい
 そろっはい
 そろっはい
 そろっはい
 そんぐら
 ぞんざいる
 そんじゃー
 そんた
 そんだい
 そんだせーで
 そんだで

句 ソレハ
 句 ソレデハ
 句 ソレユエ
 句 ソレユエ
 句 ソレユエ
 句 ソレバカリ
 形 ソツツカシイ
 形 ソツツカシイ
 形 ソツツカシイ
 形 ソツツカシイ
 形 ソツツカシイ
 副 ズットスルコト
 動 ワガママスル
 句 ソレデハ
 代 ソナタ
 句 ソノカハリ
 句 ソレユエニ
 句 ソレダカラ

「そりゃーありがたう」
 「それじゃーかうしよう」
 「それだで困るといふのだ」
 「それだんでいふのだ」
 「それだもんだでかうするのだ」
 「それほつか役に立たぬ」
 「そろっはい人だ」
 「そろっはい人だ」
 「そろっはい人だ」
 「そろっはい人だ」
 「あゝこわいぞんぐらした」
 「ぞんざいると承知しないぞ」
 「そんじゃー行かう」
 其方
 「そんだいに之をやる」
 「そんだせーでかうなつた」
 それゆるの意

そた

そんで
そんな
そんなー
そんない
そんなこんで
そんねー

【三三】

た

たーけ
たーける
たーたーしい
たーたんは
たーぶれる
たーへん

名 代 句 句 句 句 副 動 名 形 動 名

ヤマノウシロ
アナタ
ソレナラ
サホド
ソナコトデ
ソノヤウニ
ヲロカモノ
タグル
タイソウラシイ
タンポポ
タハムレル
タクサン

山の背面
「そんなの方がわるい」
「そんなーまた参ります」
「そんない困るのかなー」
「そんなこんでどうするか」
「そんねーに言ふな」
愚痴
手繰る
「それしきの傷に痛いなんてたーたーしい」
蒲公英
戯る
澤山

意 義 用 例

た

たーら
たーらんぼー
たえーたえー
たえーこ
だい
たいげ
たいげー
たいげー
だいさん
たいじくする
だいつー
だいに
たいべ
だいむく
たお
たおや

名 名 名 名 副 名 句 名 副 名 名 名 名 名 名

タハラ
サンダハラ
ダイダイ
ダイコン
カハリ
タイギ
タイギ
タイガイ
ザイサン
ダイジニスル
キレイ
タイソウニ
タウエ
ダイモク
タニ
コヤ

俵
棧俵
橙子
大根
「そのだいにこれをやる」
大儀、御苦勞
大儀、御苦勞
大概
財産
大切にす
綺麗
「だいに骨が折れる」
田植
題目
谷
小屋

【三三】

たかあし
 たかえー
 たかこち
 だかさま
 たかし
 だがつさん
 たがみそ
 たきー
 たくらんたー
 たげがな
 たけっこ
 たけっぺー
 たけり
 たけんこ
 たこ
 たこぞー

名 形 名

タケウマ
 タカイ
 タツミカゼ
 ヲケヤ
 タケウマ
 ヲケヤ
 コミゾ
 タカイ
 タハケモノ
 タケナガ
 タケノコ
 タケツペラ
 サカリ
 タケノコ
 ケラ

竹馬
 高し
 巽風
 桶屋
 竹馬
 桶屋
 田の中の小溝
 高し
 「大馬鹿のたくらんたーだ」
 女子の髪に飾る巾
 筍
 竹筍
 遊牝「たけりがつく」
 粗末なる單衣
 蝶

たこひき
 だし
 たじ
 だしか
 だしき
 だしほん
 たじま
 だしゃー
 だすか
 たすかつてくれ
 たたんぼー
 たたんぼこ
 だちがあかん
 だちもない
 たかい
 だかい

名 名

サジミバリヤウ
 ホンバコ
 ゼイキン
 ザシキ
 エンダイ
 タ
 ダセバ
 カサ
 タスケテクレ
 ヘタ
 タンボボ
 ラチガアカン
 ラチモナイ
 タカイ
 タクサン

刺身庵丁
 西北風
 本箱
 税金
 座敷
 縁台
 河に突き出でたる田
 「早くだしゃー」
 容積
 助けてくれよ
 茄子西瓜等のへた
 蒲公英
 「仕事がだちがあかん」
 「だちもないことをしたものだ」
 高し
 澤山

た

だつき
だつきらい
たっしゃ
だっちよー
たっつ
だっつ
だっほ
たっほ
たつんぼー
たて
だて
たてー
たてる
たな
だに
だーに

句 名 動 句 句 句 名 名 名 名 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句 句

デアツタ
ダイキライ
ブンベン
カチアフ
テアツタ
デアツタ
ラツバ
タニシ
タニシ
タチ
ダカラ
タチ
アフ
ヤウ
デスヨ
デスヨ

「さうだつきねー」
大嫌ひ
分婉
衝突す
「聞いたっつ」
「さうだっつ」
喇叭
田螺
田螺
性質
「それだてわるい」
性質
籟る
「このたな」
「私も學校へ行くだに」
「これが善いだーに」

〔110〕

た

たねー
たのき
たのもこ
たは
たはける
たはーける
たほー
たほー
たほー
たほー
たほー
たほー
たほけーれ
たほこり
たびつく
たびる
たぶこ

名 名 名 名 名 名 副 動 動 動 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名

タンノウ
タヌキ
ダイドコロ
タニシ
フザケル
フザケル
タクハヘル
タイソウ
ランザツ
ヤツカイ
タバコ
タバコ
タバコイレ
タバコイレ
ヒダス
タバコ

堪能
狸
臺所
田螺
戯る
戯る
貯ふ
大層
「大變だぼーになった」
厄介「だぼーな事を云ふ」
烟草
烟草入
烟草入
器物内の液体の動搖して溢れ出るを云ふ
箕にて籟出す
烟草

〔111〕

ちくい
ちくた
ちぐたぐ
ちげ
ちさつびら
ちすじ
ちぞ
ちそ
ちそ
ちび
ちっくい
ちっくない
ちっける
ちっくり
ちっこい
ちっさい

形 名 名 名 名 名 名 名 名 名 名 形 形 形 形 形 形 名 名 名 名 名 形

ヒクイ
タケノヒクイヒト
フソロヒ
ペンタウバコ
ヒラタイ
ツツジ
シソ
シソ
シソ
チヒサイ
チヒサイ
チヒサイ
ノセル
チヒサイ
チヒサイ
チヒサイ
チヒサイ

低き意「ちくい人」
低い人の意「彼の人はずくただ」
整はざるこま「物置の脚がちぐたぐだ」
辨當箱
扁平
躑躅
紫蘇
紫蘇
紫蘇
「此の兒はちびだ」
小し「ちっくい梨」
小し
載す
小し「ちっくりな人」
小し
小し

ちったー
ちっちー
ちっちえー
ちっちゃい
ちっちら
ちっと
ちっとはか
ちっほけな
ちっほけない
ちまか
ちまった
ちみきる
ちみくる
ちやー
ちやーつと
ちやーと

句 名 形 形 形 副 形 形 句 句 句 句 句 句 句 句 句 副 副 副

スコシハ
ツバ
チヒサイ
チヒサイ
スコシ
スコシ
スコシ
スコシバカリ
チヒサイ
チヒサイ
コマカ
シマツタ
ツメル
ツメル
タチ
ハヤク
ハヤク
ハヤク

「ちったー出来るよ」
乳母
小し
小し
「ちっちらたべんまばらなわくるくする」
少し
少し
少許
「ちっほけな魚だ」
「ちっほけない鳥がゐりました」
細小
失策せり
抓む
抓む
「誰さんちやー」
「ちやーつとお出だなさー」
「ちやーと来い」

ちやーる	動	ステル	棄つ
ちやかす	動	アザケル	嘲弄す
ちやかりと	副	オチツキテ	「用事もすんでちやかりとして居る」
ちやごー	名	チャガシ	茶菓子
ちやちもない	形	ラチモナイ	「ちやちもない事をする」
ちやすけ	名	オヤツ	晝食と夕食の間に食ふ食事
ちやつと	副	ハヤク	「ちやつと行つて来よう」
ちやつちや	副	サツサ	「ちやつちやと行つて来い」
ちやつぽ	名	コシマキ	婦人の腰巻
ちやのこ	名	アサメシ	朝飯
ちやまが	名	チャガマ	茶釜
ちやらける	動	フザケル	巫山戯る
ちやらんぷらん	名	ノラクラモノ	懶惰者
ちやん	名	チ、	父を呼ぶ下等なる小兒語
ちやんきー	名	スワル	支那人の上着の様なる物
ちやんこする	句		坐する意の小兒語

ちのんちやー	名	チャワン	茶碗をいふ小兒語
ちやんびー	名	ランナ	女
ちやんびん	名	チャビシヤク	茶湯を汲む柄杓
ちゅー	句	トイフ	「彼れは何ちゅー人だ」
ちゅーちゅー	名	ネズミ	鼠をいふ小兒語
ちゆんちゆん	名	スツメ	雀をいふ小兒語
ちゅー	句	サウダ	「かういふ人があつたつちゅー」
ちゅー	尾	サン	人を呼ぶ時に用ふ「お竹ちゅー」
ちゅーしかん	名	オモシロイコト	面白きこと
ちゅーすはや	名	ベンジヨ	便所
ちゅーすや	名	ベンジヨ	便所
ちゅーちた	句	オチタ	落ちたり
ちゅーちんまい	名	テフテフ	蝶
ちゅーま	名	ニンギヤウ	人形
ちゅーゆー	句	トイフ	「山田ちゅーゆー人」
ちゅーらかす	動	アヤス	「手をたゝいてちゅーらかす」

ちよーる	動	タハムレル	「あの犬のちよーるのをごらん」
ちよーんだらい	名	テウヅダラヒ	手水盥
ちよこ	名	チヨク	猪口
ちよこつと	副	スコシ	「ちよこつとのせる」
ちよこんと	副	チヨイト	「この間へ鼠がちよこんと出た」
ちよちよくなる	動	ウヅクマル	蹲踞す
ちよちよる	動	タハムレル	戯る
ちよつきり	副	チャウド	ちよつきり合つてる
ちよつくら	副	チヨット	「学校までちよつくら行て来い」
ちよつくり	副	チヨイト	「ちよつくり行つて来る」
ちよび	名	コリコウ	小利口
ちよびちよびする	句	リコウブル	利口ぶる
ちよびつく	動	コセツク	齟齬す
ちよろい	形	ヨワイ	弱し
ちよろつかい	形	マダルイ	「あの人ばかりちよろつかいな事をする」
ちよろまかす	動	ゴマカシカスメル	「人の物をちよろまかす」

ちよんがりー	形	トガリ	「ちよんがりー棒」
ちよんがれ	名	ウカレブシ	浮れ節
ちよんこ	形	チヒサイ	小し
ちんよこ	名	イナムラ	稻叢「ちんよこを積む」
ちよんじよくなる	動	ウヅクマル	蹲る
ちよんじよくなる	動	カバム	屈す
ちよんな	名	テウナ	手斧
ちりりんぎ	名	チリレンゲ	散蓮華(匙の一種)
ちれめん	名	チリメン	縮緬
ちろりんぎ	名	チリレンゲ	散蓮華(匙の一種)
ちん	尾	タチ	人の複數なるを表はす(おまっちん)
ちんかい	形	チヒサイ	小さし
ちんがり	副	スコシ	「此の頃はちんがりとも見えない」
ちんぐい	形	チヒサイ	小さし
ちんけー	形	チヒサイ	袖無し袷天
ちんこ	名	ソデナシ	

ちんこ	ちんこ	ちんこい	ちんころ	ちんじゅー	ちんじゅーた	ちんじらげ	ちんちのこま	ちんちん	ちんちん	ちんび	ちんびー	ちんびー	ちんびきさい	ちんびきさい
名	名	形	名	名	句	名	名	名	名	形	形	形	形	形
チヒサイヒト	ハハコグサ	チヒサイ	チンバ	チヂンケ	チヂミヨレル	チヂレゲ	スミレ	メダカ	コトリ	チヒサイ	チヒサイ	シハイ	チヒサイ	チヒサイ
矮人	母子草	小さし	跛	縮毛	「糸がちんじゅーたになった」	縮毛	葎	目高魚	小鳥をいふ小兒語	小さし	小さし	客語「あの人はちんびーだ」	小さし	小さし

ちんびくさい
ちんぶい
ちんぶくたい
ちんぷりをかく
ちんべー
ちんべけ
ちんべけたい
ちんまえる
ちんや

形 形 形 句 形 形 形
チヒサイ
チヒサイ
チヒサイ
スネル
チヒサイ
チヒサイ
チヒサイ
ツカマヘル
ヒナ

小さし
小さし
小さし
執拗る
小さし
小さし
小さし
「魚をちんまえる」
雛

つ

ちん	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー	つー
方	言	品詞	普通語	意	義	用	例							
名	句	句	句	「あの兒はできるつー」	「山田つー人」	「築泥の略より轉したる語」								
イシガキ	トイフ	サウダ												

ついでに	副	スグニ	「それはやめてついでに行って来い」
ついで	名	ツエ	杖
つえんぼ	名	ツエ	杖
つおい	形	ツヨイ	強し
つかます	動	トラヘル	「魚をつかます」
つかれた	句	ガツカリシタ	落膽せり
つきやーげ	名	テンブラ	天麩羅
つくしよー	名	チクシヤウ	畜生
つくなつた	句	タフレタ	倒れたり
つくねる	動	ツカネル	秩序なく束ぬること
つくらふん	名	ボンヤリ	茫然
つくわる	動	ツカレハテル	疲れ果つ
づくんぼ	名	ツクシ	土筆子
つけげ	名	ツケギ	附木
つげんぎ	名	ツケギ	附木
つげんげ	名	ツケギ	附木

【二語】

つけんは	名	ツケギ	附木
つじかけ	名	イシガキ	石垣
つちんぼー	名	ツチ	槌
つつかーす	動	コハス	破壊す
つつかかった	句	ツマヅイタ	「石へつつかかった」
つつからかいた	句	ツキトバシタ	「人をつつからかいた」
つつからがす	動	オス	押す「そんなにつつからかすな」
つつきり	副	チャウド	「つつきり一圓になる」
つつきら	副	チャウド	丁度
つづくどける	動	クヅレル	「土堤がつづくどける」
つづくどれる	動	クヅレル	崩る
つっころはす	動	ツキタフス	「後ろからつっころはす」
つつつぼー	名	ツツソデ	筒袖
つつつこ	名	ツツ	苞
つっとーす	動	ツキトホス	突き貫す
つっぼー	名	ツツ	筒

【一語】

つほぎ	つほ	つべたい	つぶらん	つぶり	つはなかつ	つはくろ	つはくら	つなぎ	つとつぽー	つとつこー	つとつこー	つと	つつんぽー	つつめ	つつみ
名	名	動	動	名	動	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
ニハキ	タニシ	ツメタイ	ネムル	アタマ	キレイニスル	ツバメ	ツバメ	イトキレ	タケツツ	ヒカガミ	ツト	ヒカガミ	タケツツ	ツツミ	イケ
庭木	田螺	冷し	蠶	蠶の眠ること	「あそこの家では娘をつばなかつ」	「つぶりを結ぶ」	燕	燕	糸切	竹筒	鯛	鯛	竹筒	堤	池

【一六】

つほぎ	つほげる	つほこー	つぼやま	つまんない	つむたい	つも	つもー	つもじ	つやー	つよ	つよ	つらい	つらい	つらまえる	つらまえる
名	動	名	名	形	形	名	名	名	名	名	形	動	動	動	動
ツボミ	ツボメル	シセイジ	ニハ	ツマラヌ	ツメタイ	ツム	ツガフ	ツムジ	トイヘバ	ツユ	ツエ	カナシイ	コマル	ツカマヘル	ツカマヘラレル
蕾	「傘をつぼげる」	私生兒	庭園	「そんなことはつまんない」	冷たし	紡錘	都合	旋毛	「小刀つやーちつとも切れない」	露	杖	悲し	困る	捕ふ	捕へらる

【一七】

つらます	動	トラヘル	捕ふ
つる	動	カツグ	擔ふ(捧ぐる意)
つるくす	動	ツルス	吊るす
つるくる	動	ツルス	吊るす
つるしゃげる	動	ツルシアゲル	吊り上げる
つるね	名	ヤマノミネ	山系の頂
つん	頭	ツキ	「つんだす」「つんのめる」
つんずくし	名	ツクシ	土筆子
つんすれ	名	ツヅレ	繚縷
つんはくら	名	ツバメ	燕
つんぼくろ	名	ツバメ	燕
つんまいる	動	トラヘル	捕ふ
つんまう	動	トラヘル	捕ふ
つんむる	動	モル	漏る
つんぬける	動	ツキヌケル	貫通す
つんめたい	形	ツメタイ	冷し

つ

【二五】

で	方	音	品詞	普通語	意義	用例
で	方	カラ	副	カラ	にりてよの意「いまいくでまうてゐる」	
て	方	トイフ	副	トイフ	「林つて一人が来た」	
て	方	トモ	副	トモ	「あーさうだてー」	
で	方	キヤクマ	名	キヤクマ	客間	
て	方	テヲケ	名	テヲケ	手桶	
で	方	ダイコン	名	ダイコン	大根	水田を耕すまき鋤につけて泥を 防ぐもの
て	方	タウエ	名	タウエ	田植	
て	方	ダイコン	名	ダイコン	大根	
で	方	オホキイ	形	オホキイ	大きし	
で	方	オホキイ	形	オホキイ	大きし	
で	方	オホキイ	形	オホキイ	大きし	
で	方	ドクドク	副	ドクドク	「血がでくでく出た」	

て

て

【二五】

てくすわる	スハル	力を入れてむづと坐する意
てぐりもの	コザカナ	小魚
てこ	オホキイ	大なること
てこする	モテアマス	困却する意「あのためにてこすつた」
てごささい	シマツニヲヘヌ	「此の子はてごささいにかぬ子だ」
てごつちよ	テギハ	手際 <small>「そんなむづかしい事は私のでごつちよには出来ぬ」</small>
てこな	オホキイ	大きし
てこない	オホキイ	大きし
てころほー	ニンギヤウ	人形
てごん	テグス	天蠶糸
でしやー	デサヘ	「私でしやー困つた」
ですけ	デスギ	生意氣
でせー	デサヘ	「子供でせー知ってる」
てっか	イタツラ	悪戯
でっかい	オホキイ	大きし
でっかえー	オホキイ	大きし

てっかり	ハゲアタマ	禿頭
てつきー	テツケウ	鉄橋
てつきら	チャウド	丁度「てつきら合ってる」
てつきり	キット	「てつきり彼奴に違いない」
てこ	テ	手
てこー	テ	手
でこない	オホキイ	大きし
てっしよー	カナラズ	必「明日はてっしよー来るだらう」
てつたら	トイツタラ	「小刀つてつたらちつとも切れない」
でつづく	デハジメタ	出初めたり
てっほちもり	ヤマモリ	山盛り
てっぺん	イタダキ	頂上
てっぼー	ツツソデ	筒袖
でに	ニンギヤウ	人形
でに	ゼニ	錢
てぬい	テヌグヒ	手拭

でね	で	でね	名	ゼニ	銭
てのぎ	て	テヌグヒ	名	テヌグヒ	手拭
てのげ	て	テヌグヒ	名	テヌグヒ	手拭
てのこい	て	トイフノニ	名	トイフノニ	「善いってばよ」
ては	て	コガタナ	名	コガタナ	小刀
では	で	ゼヒ	副	ゼヒ	是非「でひ逢ひたいものだ」
でひ	で	デハウダイ	名	デハウダイ	出放題
でほ	で	オマヘ	代	オマヘ	貴様
てめえ	て	オマヘタチハ	代	オマヘタチハ	汝等はの意
てめえーちや	て	トイヘバ	句	トイヘバ	「吉田ってやーその人だったねー」
てや	て	ダヨウ	句	ダヨウ	「好まぬこと」でよー好かない人だ
てよ	て	テラケ	名	テラケ	手桶
てよーけ	て	テラケ	名	テラケ	手桶
でやすのー	で	デスネー	名	デスネー	「お氣の毒様でやすのー」
てれぼ	て		名		相對する人に對して恥しく又骨折損の境遇に陥りしこゝで「てれぼーになった」

てれる	動	ミオトリスル	動	ミオトリスル	善きものこ比べて一方の價值なく見ゆるこゝに人につきても用ふ
でろ	名	ドロ	名	ドロ	泥
でん	名	ゼン	名	ゼン	膳
でんがーる	動	タフレル	動	タフレル	仆る
でんがーった	句	タフレタ	句	タフレタ	倒れたり「ひどい風ででんがーった」
でんがけ	副	ハジメニ	副	ハジメニ	「でんがけ失敗した」
でんがった	句	タフレタ	句	タフレタ	仆れたり
でんから	副	ハジメカラ	副	ハジメカラ	「でんから間違つて居る」
でんがらかす	動	タフス	動	タフス	倒す
でんがる	動	ヒクリカヘル	動	ヒクリカヘル	「あの人はでんがるだらうよ」
でんきに	副	イチバンサキニ	副	イチバンサキニ	「でんきにあの人が鳴きだした」
でんこ	名	イタダキ	名	イタダキ	頂
でんこ	名	テング	名	テング	天狗
でんこー	名	テング	名	テング	天狗
でんこーさん	名	テングサン	名	テングサン	天狗様
でんこけた	名	タフレタ	名	タフレタ	仆れたり

てんころみ	カシノミ	櫓の實
てんじんぼー	テンビンボウ	天秤捧
てんじく	テン	天
てんすら	ハジメ	「てんすら叱られた」
てんだい	テツダイ	手傳
てんだう	テツダフ	手傳ふ
てんでに	オノオノ	「兵隊がてんでに鉄砲を擔いだ」
てんでつこー	オノオノ	各自
てんでん	イソイデ	「てんでん歩いて行く」
てんに	マツサキニ	「てんに倒れてしまった」
てんびらぼー	テンビンボウ	天秤棒
てんぶら	フトイコト	「あの人ほまこにでんぶらして居る」
てんぼー	カタテヲケ	片手桶
でんぼー	ツボミ	蕾
てんほけ	カタテヲケ	片手桶
てんほおけ	カタテヲケ	片手桶

て

【一語】

どー	方	品詞	意 義 用 例
どーえ	方	副詞	「そら兎がいったどー」
どーき	言	普通語	桐油
どーきび	言	普通語	當分
どーぐれ	言	普通語	玉蜀黍
どーきん	言	普通語	「土のどーぐれ」
どーけ	言	普通語	雑巾
どーご	言	普通語	手桶
どーざい	言	普通語	道具
どーざい	言	普通語	馬の兒(當歳の意)
どーざい	言	普通語	「どーざい〜出來ません」
どーし	言	普通語	「どーし遊んでゐる」
どーしに	言	普通語	「どーしに行かう」

ど

と

【一語】

どーじ	どーしい	どーすく	どーすく	どーすく	どーすみ	どーせすか	どーそく	どーと	どーどー	どーで	どーは	どーめがね	どーもん	どーやー	どーやく	どーらく
名	句	動	動	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
サナギ	ドウシヨウ	モテアソブ	ウツ	トウシン	ドウシヨウカ	ラウソク	ウヲ	ウマ	トテモ	ソテナシバンテン	タマゴ	タンボ	チチ	メウマ	ハウタク	
蛹	如何にせん	「それをどーすいてはいけない」	打つ「背中をどーづいてやる」	燈心	如何にせん	蠟燭	魚をいふ小兒語	馬をいふ小兒語	「どーで一緒にには行けまい」	袷天の袖なきもの	卵	廣き田の面	父をいふ小兒語	牝馬	放蕩「どーらくもの」	

とーりー	どーわれ	とあおり	どい	といけ	とえけ	どえらい	とかさ	とけー	とけさ	どける	とこ	とこさん	とこしー	どじま	とせん
形	副	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
トホイ	トモカクモ	タクミ	ドテ	テヲケ	テヲケ	オホキイ	トサカ	トサカ	トサカ	ノケル	トコロ	ブツダン	タビタビ	オモテツキノゲタ	クウフク
遠し	「それはどーわれかうして置く」	唐箕	土手	手桶	手桶	「この仕事はどえらい仕事だ」	雞冠	「誰のとけー行く」	雞冠	除く「石をどける」	處	佛壇	屐	疊附の下駄	空腹

どしくねる	スネル	拗る
とちぐるー	クルヒアソブ	戯れ狂ふ
とっかけ	トカゲ	蜥蜴
とっかまえる	ツカマヘル	捕ふ
とっかる	トリツク	「人の肩にとつかるな」
とっしり	タクサン	澤山
とっけこ	トクト	篤と「とっけと考へてみる」
とっさ	ヲット	夫
とっさり	タクサン	澤山
とっさん	ワガヲット	夫
とっく	サツサ	「とつとと行きなはい」
とっくー	ヲット	夫
とっくく	シマツテオク	貯へ置く
とっぴょーしもない	トハツモナイ	「とっぴょーしもない事をいふ」
とっかーる	ヒックリカヘル	顛覆す
とっかい	ゴクオホキイ	甚だ大さし

どてこない	オホキイ	大さし
どてつくね	ドテ	土手
とっく	ウヲ	魚を云ふ小兒語
とっくさ	イタドリ	虎杖
とっくー	ウヲ	魚を云ふ小兒語
とっくー	ドザウ	土藏
とっくー	トニカク	兎に角「とにやれ行って見よう」
とっくわれ	トマ	苦
とっは	トブクロ	戸袋
とっはこ	シヤガム	屈む
とっはむ	ハゼ	沙魚
とっはんじょー	コミゾ	小溝
とっびちち	ホリ	道を横ぎれる小川
とっびちち	ハシル	走る「あの馬はよくとぶ」
とっびちち	カドグチ	門口
とっびちち	イボガヘル	疣蛙

どへ	どぼち	どぼくら	どぼらい	どまくら	どま	どもれー	どやす	どやす	どよ	どらまえる	どりえ	どりこーぶり	とれーる	これいくる	とろい
名	名	名	名	名	名	名	動	動	名	動	名	名	名	名	形
ザシキ	カドグチ	トブクロ	トモラヒ	ロマクラ	ナド	トモラヒ	ナグル	シカル	トヒ	トラヘル	トリ井	カウモリ	トラレル	トリニクル	ノロイ
座敷	門口	戸袋	葬式	櫓枕	葬式	打つ	打つ	「今あの人にどやされた」	樋	「蜻蛉をとらまえる」	鳥居	蝙蝠	取り得らる	取りに来る	遅鈍
				「酒ども呑むな」											

とろける	どん	どんが	どんがらいし	とんがらかす	とんがらし	とんがらす	とんき	とんじかなる	とんぐるみ	とんこ	とんこ	とんだい	とんだえる	とんだす	とんちき
動	名	名	名	動	名	動	名	動	名	名	名	動	動	動	名
クモル	ドノ	タウグハ	オホイシ	トガラス	タウガラス	トガラス	ヘウキン	カラム	ドンダキ	イタダキ	ダウダ	ゾンザイ	フザケル	トリダス	バカ
天氣の曇りしこと	「お竹どん」	唐鍬	大石	「棒をとんがらかす」	蕃椒	尖らす	「剽輕」とんきよーな人物だ	「糸がとんじかなる」	樞實	頂「山のとんこ」	道具	粗忽「とんだいな性質だ」	巫山戯る	取り出す	機轉のきかぬ人

なーりんぼー
 なーれ
 ない
 ないざ
 ないじ
 ないぜん
 ないだ
 ないません
 ないもせん
 ないん
 ながし
 ながし
 ながしろ
 ながだい
 なかつさい
 ながつちろい

名 動 動 名 名 名 名 句 副 句 名 句 名 名 名 名 名 形 名 名 名 名 關

ライビヤウヤミ
 ナサイ
 ナサイ
 ナギサ
 ダイドコロ
 ナイゾヨ
 ナギサ
 アリマセン
 アリモシナイニ
 ナサイマシ
 ツツケ
 セイナンブウ
 ナハシロ
 フウフ
 ナカノコ
 ナガイ

癩病患者
 「ごうしなれ」
 「御出でない」
 渚
 臺所
 「何も無いせん」
 渚
 有らず
 「ないもせんにあんな事をいふ」
 「一寸御かけないん」
 續け「兵隊が通りながした」
 西南風
 苗代
 夫婦
 仲子
 長し

ながつら
 ながや
 なかよー
 なから
 なからかなり
 ながんぼせい
 なぎ
 なぎ
 なぎくみ
 なぎぶー
 なきみそ
 なきやー
 なきんずら
 なくせる
 なくた
 なくら

關 名 名 名 名 名 名 名 名 形 句 名 名 名 名 名 名 副 名

ナガラ
 ウマヤ
 セイナン
 ハンブン
 カナリヨイ
 ホソナガイ
 タニ
 ガケ
 ヤマクツン
 ススリナキ
 ナカノマ
 ナキツラ
 ナクス
 タクサン
 ナミ

「本を讀みながつら歩く」
 厩
 西南(漁夫の語)
 半分
 物の稍可なる意
 細長し
 谷
 崖
 山崩
 「泣きぶーをかく」
 泣くことの多き小兒に對し罵詈雑言して云ふ語
 家の中の爐のある間
 「あの兒はなきんずらだ」
 失ふ
 「夏鳥賊はなぐただった」
 浪(漁夫の語)

なぐらかす
 なぐれ
 なご
 なじ
 なしか
 なす
 なすげない
 なぜくる
 なぜる
 なつうめ
 なつか
 なつちよ
 なつちよら
 なで
 なにけも

動 名 名 副 尾 動 形 動 動 名 名 句 名 副 副 副

ソリヤクニスル
 ナゴリ
 モヤ
 ナゼ
 ホドシカ
 カヘス
 ナサケナイ
 ナゼル
 ナク
 ナツメ
 ナカマ
 ズニ
 ドノヤウ
 ザット
 ナゼ
 スコシモ

「なんでもなぐらかしてやる」
 名残
 霧
 何故
 「五錢なしか持たぬ」
 返却す「かれた物をなす」
 情なし
 撫つ
 掃く
 棗
 仲間
 「少しも休まなつこー来た」
 「なつちよーでもよい」
 「急ぎますからなつちよら掃らへました」
 何故
 少しも「なにけも欲しくない」

なにつか
 なによ
 なはい
 なはりがせ
 なはりがした
 なはりがし
 なはれがし
 なはれやせ
 なぶら
 なまか
 なまじ
 なまじか
 なまじつか
 なまにちやく
 なまはんじやく
 なまれ

名 句 動 句 句 句 句 句 句 句 副 副 副 副 副 名 名 句 句 句 句 句 名

イロイロ
 ナニヲ
 ナサイ
 ナサレマセ
 ナサレマシタ
 ナサイマセ
 ナサイマセ
 ナサレマセ
 ムレ
 ナマケモノ
 ツイデニ
 ナマジヒ
 ナマジヒ
 ナマニエ
 ナマジヒ

「なにつか欲しいか」
 「なによーするか」
 「読みなはい」
 「御出でなはりがせ」
 「能く御出でなはりがした」
 「御免なはりがしよ」
 「御免なはれがし」
 「御免なはれやせ」
 魚鳥の群れをなして来るをいふ(漁夫の語)
 怠惰者
 「なまじあそこへ行って来ます」
 「なまじかな事はするな」
 「なまじつかに知って居るは却てわるい」
 未熟
 「なまはんじやくな事をするな」
 草生地

なむない
 なめくじら
 なめする
 なめった
 なやす
 ならい
 ならっしやいまし
 なりき
 なりっこ
 なる
 なるい
 なるた
 なんか
 ながい
 なんがち
 ながかつちよい

形 名 形 名 名 形 名 名 名 句 名 動 名 動 名 形

ナクニモタナイ
 ナメクヂ
 ナメル
 ミヅタ
 カヘス
 ナサレマセ
 ズンザイ
 カタチ
 マル
 ヤハラカイ
 マルタ
 アバレモノ
 ナガイ
 イタヅラ
 ナガイ

「なむない仕事をした」
 蛞蝓
 紙る
 水田
 償却す「借金をなやす」
 東北風
 「御免ならっしやいまし」
 「あの人はなりきだ」
 「このなりっこはよい」
 丸木「なる木」
 効験うすきこと「この煙草はなるい」
 丸木
 「この子はなんかでこまる」
 長し
 「なんがちするな」
 長し

なんぐり
 なんぎ
 なんじょ
 なんじゃ
 なんすら
 なんだ
 なんとら
 なんとち
 なんちゅ
 なんな
 なんない
 なんない
 なんの
 なんはん
 なんはんきび
 なんぼーぶん

名 句 句 尾 句 句 句 副 句 句 句 名 副 副 名 名 名

ノドカ
 ナドハ
 ナンニセヨ
 シカ
 ナンダラウ
 ナカツタ
 スコブル
 ナントイフ
 ナントイフ
 ナントイフ
 チチ
 ナラナイ
 イーエ
 イーエ
 タウガラシ
 タウモロコシ
 イクラダケ

「なんぐりしたよい天気」
 「私なんぎとてもかなはぬ」
 「なんじょかんじょこれはやめだ」
 「たつた一圓なんじゃー持たぬ」
 「あれはなんすら」
 「行かなんだ」
 なんさいふたら……云ふ驚歎の意より轉じて願ふの意に用ゆ
 「なんち馬鹿なことだ」
 「なんちゅーことだ」
 父を呼ぶ小兒語
 「働かなければなんない」
 否
 否
 蕃椒
 玉蜀黍
 幾錢分

なに

なんやい

感

同輩以下の人々語る時に發する語
「あのーなんやい」

〔一八〕

方	にー	にーさ	にーしー	にーちー	にーや	にーや	にあげ	にえー	におー	にがく	にがこだけ
品詞	名	名	形	形	名	名	名	名	動	動	名
普通語	アニ	アニサン	アタラシイ	キレイ	ベツケ	アニサン	マニシカゼ	ニホヒ	ウナル	ミガク	メダケ
意義用例	兄	兄を呼ぶ小兒語	新し	美し	新家	兄を呼ぶ小供語	真西風	匂ひ	吟呻す「蒲團の上でおー」	磨く	女竹

にがに	にぎ	にぎやーた	にげー	にげちやった	にげっこー	にごい	にごる	にじゃー	にじゃどっち	にちやく	にちる	につくい	につけ	につけん	になみ
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	形	名	名	名
メダケ	ミギ	ニガシタ	ニホヒ	ニゲテシマッタ	オニゴツコ	ニホヒ	ニホフ	サナギ	サナギ	サナギ	ネバル	ミチル	ニクイ	ニツケイ	ニツケイ
篠の一種女竹	右	逃したり	匂ひ	「とうとう逃げちやった」	鬼遊び	匂ひ	匂ふ	蛹	蛹	粘る	満つ「汐がにちる」	悪い	肉桂	肉桂	南

〔一九〕

